

まつど未来シナリオ会議 振り返り会の記録

松戸市総合政策部政策推進課
委託先：株式会社スタイリッシュ・アイデア



ワーク(2)：ベースシナリオの松戸市への影響

1班

| | チャンス | リスク |
|------------------------|---|--|
| 【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none">都心に近いという利便性にメリットを感じてさまざまな人が松戸に住むようになるさまざまな人が松戸に住むようになる結果、同じ世代や属性(国籍等)を持つ人のコミュニティができるようになる外国人が増えることにより、異文化に触れる機会が増える | <ul style="list-style-type: none">高齢者の単身世帯が増加することにより、高齢者世帯の孤立が進み、それによって孤独を感じる高齢者が増える外国人や違う世代の人など多様な人に対応することによるストレスを感じる人が増える外国人が増えることで文化の違いに起因するトラブルが増えることが心配外国人などの多様な住民が増えることで、多言語対応や多様な医療ニーズに応えるためのコストが増える可能性がある |
| 【B】子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none">待機児童ゼロの状態を継続できれば松戸市の魅力としてPRすることができる国の流れに乗り、子育てや学校教育の支援が増えることにより保護者の負担を減らすことにつながる松戸市は農業が盛んなので、それを活かした食育講座などを提供できる | <ul style="list-style-type: none">人口減少により松戸市の税収も減ることで、松戸手当などの子育て支援のための施策の財源確保が難しくなる外国人人口が増加することにより、文化の違いによるいじめ問題が深刻化しないか心配労働力不足に対応するための取り組みの結果、共働き世帯が増加することで保護者が子育てにかけられる時間が十分でなくなるのが心配 |

ワーク(2) : ベースシナリオの松戸市への影響

1班

| | チャンス | リスク |
|-----------------|---|---|
| 【C】いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 松戸市内には総合病院も含めて病院が多く、どのような住民でも医療を受けやすい 進化する技術を活用して介護をやりやすくすることができる | <ul style="list-style-type: none"> 高齢化が進むことにより、市営住宅の空きが増え、周辺地域の過疎が進む 外国人住民も高齢化していくことになるが、外国人高齢者対応のノウハウが十分でないため適切に対応できるか心配 技術進化についていけず、普通の生活で不便を感じる人が出てしまうことが心配 |
| 【D】街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> 南関東に人口が集中するにあたり、通勤がしやすい点やさまざまな娯楽施設等へのアクセスもしやすい点をアピールし、人口増の可能性がある 新庁舎等バリアフリー対応が進んでいる点などをアピールできる 東京の近隣地域としては緑が多い点をアピールできる | <ul style="list-style-type: none"> 高齢化が進み、住人が減ってしまうことで、空き家がさらに増えてしまう 空き家を住居以外の目的で活用しようとしても耐震基準などを満たしていないものもあり、有効活用ができないものが増えてしまう 異常気象により河川の氾濫が増加する可能性がある |
| 【E】地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 労働力人口減少に伴う高齢者や女性の活躍機会の増大 技術の進化により、在宅での勤務がしやすくなったり、生産性が上がり余暇の時間が増えることで、松戸で過ごす時間が増え、地域経済の活性化につながる | <ul style="list-style-type: none"> 農業従事者の高齢化も進むことで、耕作放棄地が増えてしまう |
| 【F】安全・安心・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 21世紀の森と広場などの場所を策害対策のための拠点として活用できる 進化した技術を活用して現在は十分に防犯対策などを施せていない地域でも防犯対策を進めることができる | <ul style="list-style-type: none"> 老朽化してしまったインフラの維持管理に多くのコストがかかる可能性がある 気候変動が続くことで自然災害が増加することが心配 |

ワーク(3) : ベースシナリオを元にしたニーズの検討

1班

| 切り口 | ニーズ |
|------------------------|---|
| 【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 外国人と交流する機会を増やしてほしい 外国人と交流しやすくなるための他言語教育の機会を設けてほしい 町会の高齢化などで地域のイベントが減っているため、そのような地域を活性化する役割を担うことができるファシリテーターを増やしてほしい 地域の人達とまちづくりについて話せる場が欲しい |
| 【B】子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> 子連れで出勤できる職場を増やしてほしい 放課後の子どもの居場所を増やしてほしい 子ども医療費助成制度の対象を高校生にまで広げてほしい 松戸市にある4つの大学が連携して社会人向け等の教育を充実させてほしい |
| 【C】いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 健康寿命を延ばすための取り組みを積極的に行ってほしい お墓の管理など死後の心配をしなくても済むような仕組みをつくってほしい 高齢化に対処するために介護サービスを充実させてほしい 高齢者が働き続ける仕組みをつくってほしい ダブルケアの支援や相談をするための窓口がほしい |
| 【D】街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢化が進むことにより、現在では実現できていない短距離の移動など個人の状況に対応できる移動手段を実現してほしい 松戸市を超えた移動をより便利にするためなどの目的で近隣市町村と連携した街づくりを行ってほしい |
| 【E】地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者や女性にとって働きやすい雇用の創出をしてほしい 企業に向けて在宅での勤務を推進するための助成の働きかけをしてほしい |

ワーク(3) : ベースシナリオを元にしたニーズの検討

1班

| 切り口 | ニーズ |
|-----------------|---|
| 【F】安全・安心・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 防災のための組織を地域で自主的に運営できるようなガイドラインや仕組みを整備してほしい 避難所自体の充実や立地条件などの見直しを行ってほしい 自然災害を想定した空き家の安全対策を進めてほしい 子どもの安全対策のために各地域の防犯システムを充実させてほしい |

ワーク(4) : ベースシナリオを元にした戦略オプション検討

1班

| 切り口 | 取り組み |
|------------------------|--|
| 【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 世代の差や国籍の差などを越えた過ごしやすい地域社会をつくる 行政機関などの案内や窓口の多言語対応を進める |
| 【B】子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> 外国人生徒向けに学校での配布物などの多言語化を進める 子ども医療費助成制度などの子育て支援を引き続き継続するための財源確保の仕組みを検討する 農業体験や食育講座などの体験型の学びの機会を提供する 松戸市内の大学と連携し、さまざまな対象への講義を提供する 職場保育所整備の助成を行う 職場保育所整備を促進するためのモデル事業所を認定する |
| 【C】いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 健康寿命を延ばすために高齢者が定期的に運動できる機会とそれを支援する担い手の創出 死後のお墓の扱いなどを考えずに済む合同墓などを公営でつくる 松戸手当の介護版の仕組みをつくり介護人材の確保や創出の支援をする 介護人材育成のための講座を提供する 高齢者が就職しやすい仕組みづくりとして事業者と高齢者の仲介を行う |
| 【D】街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスの範囲拡大やデマンドバスなどのデマンド型交通の提供 |
| 【E】地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 地域経済の活性化と雇用の創出を目指して、ネギなどの農作物やラーメンなどの松戸市に特徴的なものを観光資源化するための取り組みを行う 農業の維持を目指して、松戸でとれる農産物の地産地消の促進やブランド化の取り組みを行う |

ワーク(4) : ベースシナリオを元にした戦略オプション検討

1班

| 切り口 | 取り組み |
|-----------------|--|
| 【F】安全・安心・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 避難計画の整備などの防災のためのガイドラインの整備 河川などのインフラの防災対策の強化 |

ワーク(5) : 複数シナリオの内容の再確認

1班



複数シナリオ分析：シナリオ「ドラえもん」

1班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|----------------------------|---|---|--|---|
| 【A】 人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 文化的な背景を共有しない人とのコミュニケーション機会が増えるため個人のコミュニケーション力を高める機会になる 公的な制度による支援対象ではない人も、お互いに助け合うことで支援の手が届くようになる | <ul style="list-style-type: none"> 情報をしっかりとらないと時流に乗り遅れる 価値観の多様化を自分の利益のために過剰適応する人が出てくる可能性がある | <ul style="list-style-type: none"> 外国人だけではなく、世代間・性別間の多様性や価値観の違いについて理解を深める機会をつかってほしい さまざまな国籍の人とコミュニケーションを取るための自動翻訳機等のツールを用意してほしい | <ul style="list-style-type: none"> 多様性に関する理解促進のための施策を大学や民間と連携してスピード感を持って進める 多様性に関する理解促進のためにフューチャーセンターのフル活用する 技術の普及についていくために、行政職員で新技術のエキスパートを養成する |
| 【B】 子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> 技術普及の影響が教育にも及び、教師の負担が減り、授業の質などの向上に時間を割くことができる Eラーニングなどが使いやすくなり、どのような人でも学ぶことができる機会が増える 技術進化と周囲の理解が進み、在宅での仕事が増え、子どもの面倒をみやすくなる 矢切の渡し、松戸宿、小金宿などの伝統・歴史が再評価される | <ul style="list-style-type: none"> 検索技術などに頼る人が増えることで、新たな知識などを覚えようとしなくなる人が増える可能性がある | <ul style="list-style-type: none"> 教科書や学校での配布物の多言語化を進めてほしい 知識を学ぶだけではなく、学んだ知識の活用を促進するような機会が欲しい 生活するために必要な新しい技術の使い方を学ぶ場が欲しい | <ul style="list-style-type: none"> 教育のICT化の支援 教育のICT化を進めることに伴うメリット・デメリットの理解を促進するような場をつくる 若い人や外国人など向けに歴史の再評価をしてもらえるような情報発信や教育機会の提供 |
| 【C】 いきいきとした暮らし | | <ul style="list-style-type: none"> 技術普及の結果、日常生活でものを覚える必要が減るため認知症のリスクが高まる | <ul style="list-style-type: none"> さまざまな課題に一括で対応してくれるようなワンストップ相談窓口が欲しい | <ul style="list-style-type: none"> 市が開設しているさまざまな窓口の存在についての情報発信の強化 |
| 【D】 街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> 自動運転によるコミュニティバス等が実現し、誰にとっても移動しやすくなる 宅配物の自動化やゴミ収集の自動化などサービスの自動化が進む | <ul style="list-style-type: none"> 人口減に伴い、公共交通を維持するための財源を確保するのに苦労する | <ul style="list-style-type: none"> どのような人にとっても利用しやすく、移動しやすい交通システムを実現してほしい | <ul style="list-style-type: none"> 技術進化に伴う公共交通システム整備の検討 |
| 【E】 地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 技術活用によって高齢者、未経験者でも農業を行うことができる 会社に行かなくても自宅で仕事ができるような人が増える 子育てや介護での離職が減る | <ul style="list-style-type: none"> 能力面および資金面から最新技術を活用できるかどうかで農業経営の差が大きくなる キャッシュレス等に対応できない高齢者が取り残される | <ul style="list-style-type: none"> 農業経営に活用できる最新技術情報を提供してほしい | <ul style="list-style-type: none"> 農業従事者に最新技術を活用した農業経営についての指導を行う |

複数シナリオ分析：シナリオ「ドラえもん」

1班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|---------------------|---|---|---|---|
| 【F】 安全・安心・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 最新技術を活用して多言語や障害がある人にも活用しやすい防災・防犯対策を行うことができる | <ul style="list-style-type: none"> 技術に頼り過ぎて、アナログ機器の使用や生活の知恵がダウンし、災害時に困る 多様な人に対する災害時の対応に混乱する | <ul style="list-style-type: none"> 停電時などを想定して、技術が活用できない場面を想定した防災対策指導をしてほしい | <ul style="list-style-type: none"> 災害時に実際に発生して困りそうなことのピックアップやシミュレーションをし、その対応策を検討する |

複数シナリオ分析：シナリオ「笑うセールスマン」

1班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|----------------------------|---|---|---|--|
| 【A】 人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | | <ul style="list-style-type: none"> 立場や価値観が違う同士での人間関係でのトラブルが増える 孤独死が増える | <ul style="list-style-type: none"> 地域内の人のつながりを増やすため、お互いが対話するための場を増やしてほしい 技術や人のつながりという点で孤立している人のケアをしてほしい 多様な人への対応ができるようニーズの把握をしてほしい | <ul style="list-style-type: none"> 地域内のつながりを推進する人の育成や認定制度をつくる 孤立しそうな人々が集まりやすい場所や機会をつくる 進化する技術の活用が苦手な人向けの講習会などを企画・実施する |
| 【B】 子育て・教育・文化 | | <ul style="list-style-type: none"> 価値観などの違いによっていじめられてしまう人が増える | <ul style="list-style-type: none"> 国籍や価値観などの違いについて正しい知識を持つ人が増えてほしい | <ul style="list-style-type: none"> さまざまな文化や価値観の人が共存できるような情報の提供 |
| 【C】 いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 外国人人材などに頼らず、技術を活用した介護サービスが進む | | <ul style="list-style-type: none"> 介護に関連する技術を地域の介護サービス会社が活用できるように支援してほしい | <ul style="list-style-type: none"> 介護サービス支援技術の導入や利用促進のための助成 |
| 【D】 街の魅力や居心地 | | <ul style="list-style-type: none"> 地域での助け合いが減る一方、買い物の手段としてのオンラインショッピングへの依存度が増すことで、技術に詳しくない人が買い物などの日常生活のニーズを満たすことができなくなる可能性が高まる | <ul style="list-style-type: none"> 日常生活のニーズを満たすために必要な技術の活用方法を教えてほしい 技術に頼らなくても日常生活のニーズを満たす街の機能を残してほしい | <ul style="list-style-type: none"> 買い物難民を生まないように商店の立地調査などの地域の分析を行い、対策を検討する |
| 【E】 地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 外国人人材などに頼らず、技術を活用した作業の効率化で高齢でも農業を続けることができる可能性が高まる 耕作放棄地を転用して、オンラインショップ向けの倉庫などとして活用することができる | <ul style="list-style-type: none"> 従来から続けられてきていることに対して理解を示す人が減り、農業などの伝統的な産業の担い手が減る | <ul style="list-style-type: none"> 農業などの伝統的な産業の担い手を増やすために、さまざまな立場の人にそれらの産業の良さを伝える機会をつくってほしい | <ul style="list-style-type: none"> 農業体験など、伝統的な産業について知ってもらい、理解を深めるための機会を企画・実施する |
| 【F】 安全・安心・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 監視カメラなどの技術活用により日常的な犯罪抑止につなげることができる | <ul style="list-style-type: none"> 近所のつながりが薄く、児童虐待や高齢者の孤独死等の発見が難しくなる | <ul style="list-style-type: none"> 技術だけに頼るのではなく、人を使った見守りの支援なども行ってほしい | <ul style="list-style-type: none"> 地域ぐるみの防犯・防災ができるような施策の実施 |

複数シナリオ分析：シナリオ「サザエさん」

1班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|----------------------------|--|---|---|--|
| 【A】 人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 学校などでの服装や髪型などに関する規則が柔軟なものになり、どのような立場の人にも居心地の良いものになる それぞれの地域の自治会への参加が増える 地域内での人づきあいが増える | <ul style="list-style-type: none"> 他人とつながることが苦手な人や好まない人は、生きづらさを感じやすい社会になる | <ul style="list-style-type: none"> 多様な価値観を受容するための基礎となる知識や情報を知りたい | <ul style="list-style-type: none"> さまざまな価値観についての理解促進のための情報提供や講座の企画・提供 外国人向けの日本語や日本文化講座の企画・提供 |
| 【B】 子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> 外国人などが次の文化の担い手となる 地域の人のつながりにより子どもの見守りが行われるようになる | <ul style="list-style-type: none"> 学校などにおける多言語対応が主要言語などにとどまり、学習に支障をきたす人が出てしまう | <ul style="list-style-type: none"> 祭り等の地域イベントに多様な人が参加しやすい仕組みをつくり、文化の担い手になってもらいたい | <ul style="list-style-type: none"> 地域イベントなどを多言語などでさまざまな人に伝わりやすい形で情報発信する |
| 【C】 いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 地域の人の協力によって、公的な支援が受けられない高齢者も支援を受けることができる 時間のある高齢者が子どもの面倒を見る | | | |
| 【D】 街の魅力や居心地 | | | | |
| 【E】 地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 外国人が担い手となる高齢者向けビジネスがはじまる 外国人などによって農業などの伝統的な産業の手が確保できる | <ul style="list-style-type: none"> 地域に根ざした取り組みに消極的な事業主は地域から取り残されてしまう 文化的な背景が違う事業主が事業を始めることによって、従来からの事業主との軋轢が生じる | <ul style="list-style-type: none"> 事業の生産性を高めるための技術を導入しやすくしてほしい 文化的背景や商慣習の違う人に日本や地域の事業を慣習を伝える機会を設けてほしい | <ul style="list-style-type: none"> 事業の生産性を高めるための技術の導入支援・補助 新しく事業を始める人向けの立場にあわせた情報提供 |
| 【F】 安全・安心・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティでの防災・防犯の仕組みをつくりやすくなる | | | <ul style="list-style-type: none"> 地域での防災・防犯体制確立のための情報提供や支援 |

複数シナリオ分析：シナリオ「北斗の拳」

1班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|------------------------|--|--|---|---|
| 【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 住みにくさを感じる人が増えることで、かえって、その状況をどうにかしようとする人が増える | <ul style="list-style-type: none"> 国籍や価値観などが異なる人への偏見が強まる | <ul style="list-style-type: none"> 街の課題を解決するために、課題の利害関係者間の調整をできるような人材がほしい | <ul style="list-style-type: none"> 地域の課題を市民が自ら解決していくような取り組みの支援 |
| 【B】子育て・教育・文化 | | <ul style="list-style-type: none"> 子育てや教育を支援するための財源が不足する | <ul style="list-style-type: none"> 教育無償化などの支援を継続してほしい 生活に困っている親子へのきめ細かい援助をしてほしい | <ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育て支援新制度などを継続していくための財源を確保する |
| 【C】いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 働き手が減少することで、高齢者であっても働き口がある | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者施設が増加するものの、介護人材が不足する 市内に過疎化する地域が出てくる | | <ul style="list-style-type: none"> 介護に携わる人の介護の知識を深める |
| 【D】街の魅力や居心地 | | <ul style="list-style-type: none"> 高齢化が進み、利用しやすい移動手段がない地域に住む人が減り、過疎化が進むところが出てくる | <ul style="list-style-type: none"> 市の中心部から離れた地域に住んでいる人にとっても生活で不便を感じないような移動手段を用意してほしい | <ul style="list-style-type: none"> 長期的な視点での交通事業者との協議・連携 |
| 【E】地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 農業など地域に根ざした産業の担い手が減ることで、事業をやり続けている事業者にとっては競争がゆるやかになる | <ul style="list-style-type: none"> 担い手や後継ぎがいなくなってしまい、事業の継続ができなくなってしまう | <ul style="list-style-type: none"> 地域に根ざした産業への新規就労支援をしてほしい 農業などの地域に根ざした産業を保護するために地産地消を推進してほしい 60歳以上を受け入れる企業を誘致してほしい 事業承継の支援をしてほしい | <ul style="list-style-type: none"> 地域内の企業への就労支援 地産地消など地域に根ざした産業の支援 事業承継の支援 |
| 【F】安全・安心・快適な暮らし | | <ul style="list-style-type: none"> インフラの老朽化に伴い、防災上の危険性が高まる地域が出てくる 国籍や価値観の違いなどに起因するトラブルが増える可能性がある | <ul style="list-style-type: none"> 防災・防犯上の危険性が高い箇所の安全を確保してほしい 国籍や価値観の違いに起因するトラブルの対処をしてほしい | <ul style="list-style-type: none"> 老朽化したインフラ対策の優先順位づけ トラブル対応のための窓口の設置と周知 |

ワーク(2)：ベースシナリオの松戸市への影響

2班

| | チャンス | リスク |
|------------------------|---|--|
| 【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 一部事務組合や連合のような広域での協力によりシステムを統一している 新技術により、行政へ直接行く必要がなくなり、施設の統廃合が進んでいる 外国人を受け入れるまちをつくるチャンスがある | <ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化と高齢化対策により、公的サービスのためのハード面改修の費用が増している 市民一人ひとりのニーズの多様化と、増加が生じている 市の財政について、民生費の増大により、他に財源を回せなくなる 外国人増加により、文化や習慣の違いによる衝突や弊害が生じている 多文化社会が進むが、生活文化などの違いを正しく理解する機会がなければ、多様な人が身近に住んでいることに不安を感じる人も出てくる可能性がある |
| 【B】子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> 外国人の増加により、異文化への関心が高まり、語学の習得や交流が深まる 共働きが増え、男性の育児参画が増える | <ul style="list-style-type: none"> 社会の変化に教育が対応しきれない ITの発展により、コミュニケーションが苦手な児童・生徒が増える 外国人の親たちが増えるが、周りとのコミュニケーションが取りにくい 外国人の増加や障害等多様な生徒の増加に学校が対応しきれない 言語の壁が生じる |

ワーク(2) : ベースシナリオの松戸市への影響

2班

| | チャンス | リスク |
|---------------|--|--|
| 【C】いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> • 大小の病院や介護分野の施設が多く安心できる • 高齢者・外国人・障害者・女性等多様な人が働くチャンスがある • 技術の進化により、健康の自己管理ができるようになる • 認知症患者を地域で支えて地域の活性化 • 介護だんし/じよしのPRが松戸のPRになる | <ul style="list-style-type: none"> • キャッシュレスやIT化についていけないIT弱者がうまれる • 高齢者の単独世帯が増加し、孤独死につながる可能性が高まる • 収入や得られる情報の差により老人ホーム等入所する施設について格差が広がる • 認知症患者が地域で孤立化する |
| 【D】街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> • 都市と田舎の両方楽しめる • 駅周辺の開発により地域が活性化する • 空き家をPARADISE AIRのように文化芸術のための施設や、外国人が住む等活用できる | <ul style="list-style-type: none"> • 都市整備に伴いマイナスの影響として、自然減少、渋滞等が生じる • 空き家・空きテナントが増えるが、耐震基準により活用が進まない • 売ろうとしても買い手の見つからない不動産が出てくる • 公共施設の閉館の可能性はある |

ワーク(2) : ベースシナリオの松戸市への影響

2班

| | チャンス | リスク |
|-----------------|---|---|
| 【E】地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> • ICT技術普及で自宅で働ける • 高齢者向けビジネスのチャンス • AI等新技術の活用で新たな仕事が増加し、起業や企業誘致の可能性につながる • 気候変動により、これまでつくれなかった熱帯の作物がつけられるようになる • AI普及により新しい仕事が増える | <ul style="list-style-type: none"> • 気候変動により、これまで作っていた作物がつけなくなる • 開発に伴い農地が減少する |
| 【F】安全・安心・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> • 高齢化により安全・安心に関する需要が増加する • 再生エネルギー利用の増加 | <ul style="list-style-type: none"> • 環境変化に伴う自然災害の増加 • 防犯カメラが増え、プライバシーが侵害される • 高齢者の増加により、救急車が足りなくなる等救急医療体制の維持が困難になる |

ワーク(3) : ベースシナリオを元にしたニーズの検討

2班

| 切り口 | ニーズ |
|------------------------|---|
| 【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 多文化の人同士で対話をする等、お互いの理解を促進し協働できるようにしたい 公共施設の再編が、次世代や弱者の負担にならないようにして欲しい |
| 【B】子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> 通常の教科以外に、結婚や子育て、対人関係などのコミュニケーション等、人との関わり方や生き方を教えて欲しい 外国人の親向けサポートを増やしてほしい 経済的な事情によらず教育を受けられるように、高校を無償化してほしい 子どもが近くて安心して遊べる場所が欲しい。思い切り遊べる公園を増やして欲しい 車椅子を使う児童生徒が学べる学校にするなどのユニバーサルデザインの取り組みを進めることで、病気や障害が理由で教育が途切れないようにして欲しい 地域全体で子育てをして欲しい 21世紀の森と広場をコスプレやアートの場所にして文化を活性化させて欲しい 労働に関するトラブル防止のスキルが足りないので、学校で仕事について学ぶ機会をつくって欲しい |
| 【C】いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 病院やクリニックを受診しやすいようにして欲しい 在宅医療のニーズが増える 認知症を孤立化させず、地域で支えるようにしたい 言語・文化・障害への対応等医療・介護に関するニーズが多様化する |
| 【D】街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> 交通渋滞を緩和し、街の中を便利に移動できるようにしたい |

ワーク(3) : ベースシナリオを元にしたニーズの検討

2班

| 切り口 | ニーズ |
|-----------------|--|
| 【E】地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 松戸産の農産物をもっと市内に流通させたい パイナップル等、温暖化に適した新松戸ブランド農産物をつくりたい 松戸市内での働き口をもっと増やす 若年、早期退職者を減らしたい 高齢者が増える状況を高齢者自身にも企業にも、雇用や新しい事業のチャンスにしたい |
| 【F】安全・安心・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 地域毎のリスクに合わせた風水害対策をしてほしい 消防団員を増加させたい 多文化が進んでも、安心できる治安を確保したい 困っているときにどんな環境の人でも救急車が利用でき、救急医療が受けられるようにして欲しい |

ワーク(4) : ベースシナリオを元にした戦略オプション検討

2班

| 切り口 | 取り組み |
|------------------------|---|
| 【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 地域で対話を促進しコミュニティづくりや課題解決ができるファシリテーターを育成する 市役所にIT専門職を採用する 外国人の流入が多いことをチャンスにするため外国人との共栄戦略をつくる |
| 【B】子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもがのびのびと遊べる場所を確保するため、地域の理解の促進や公共施設、児童館等を充実させる |
| 【C】いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 若年層に対するホットラインをつくる かかりつけ医がいることを当たり前にする |
| 【D】街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> 多様な人が集まれる場所をつくる パークマネジメントを充実させ、市外から人が集まれるようにする 駅・病院等への公共交通ネットワークを充実させる |
| 【E】地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 市内で働けるように企業の誘致を進める 働く意思がある人への雇用の場の提供 テレワークを企業が導入しやすいように支援する 子育てサポートのできるシニア人材を育成する 大小の病院が多いことを活かし、医療系ベンチャーを誘致し、医療と研究をつなぎ産業の活性化につなげる 女性やセカンドライフ等の起業のサポートを充実させる 中間世代の就労支援を行う |
| 【F】安全・安心・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 費用助成の充実、学生消防団等消防団員を増加させる 防災訓練の種類(地震、風水害、停電等)や質を高める支援をする 水害対策用の避難所を充実させる |

ワーク(5) : 複数シナリオの内容の再確認

2班



複数シナリオ分析：シナリオ「ドラえもん」

2班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|----------------------------|--|--|---|---|
| 【A】 人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 家事をロボットが代行することで、男女の負担の差が少なくなる LGBTの方等も住みやすく、暮しやすくなる 翻訳アプリの開発により外国人とのコミュニケーションが楽にとれる マイナンバー等の活用により、行政サービスが民間の施設(コンビニ等の店舗等)でもできるものが増える。 | <ul style="list-style-type: none"> ロボットの増加により「ありがとう」という感謝の気持ちを持ちづらくなり、心が育ちにくくなる リアルに出会うコミュニケーションの減少により、対人能力が低下する | <ul style="list-style-type: none"> 人とリアルにつながりたい 障害等で自分の考えを伝えづらい人でも、自己表現ができるようになりたい | <ul style="list-style-type: none"> オフ会等、リアルなコミュニケーションができる場をつくる 一つのイベントに、他の分野の施策を統合して実施することで、ニーズの多様化に対応する |
| 【B】 子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> IT技術により保育士・教員等も働きやすくなり、保育中の事故が減る | <ul style="list-style-type: none"> SNS等の影響によりリアルに出会うコミュニケーションが減り、人の気持ちがわからない子どもが増加する | <ul style="list-style-type: none"> 単純作業はなくなるため、子どもからのキャリア形成と技術の習得をして欲しい 心を育む教育をして欲しい AIだけに頼らない自分で考え判断できる教育をして欲しい 大人になってから高校の授業を受け直したい等学びのニーズの多様化に対応してほしい 大人に対してもあたらしい技術の習得を支援して欲しい | <ul style="list-style-type: none"> IT教育の強化と、そのために指導できる専門家を教員として採用する。または、企業連携する 表現力、発想力、コンセプトを考えるを育てる一貫としてアート教育等をする 学校や保育所で多様な児童・生徒を受け入れるために、ITを活用できるようにする 学校に行かなくても学べるオンラインサービスを充実させる 多様な学び直しに対応する |
| 【C】 いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 健康寿命が伸びる インターネットを利用して学習も仕事もでき、社会参加できるため、ひきこもりが減る | | | |
| 【D】 街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> 技術と地域活動の活性化により、公共サービスやハード面を縮小できる | | <ul style="list-style-type: none"> 仕事時間が技術により減る分、空いた時間を地域活動等に活かしたい | <ul style="list-style-type: none"> 公共施設などのハードを再編する 芸術イベントや祭りを増やす |

複数シナリオ分析：シナリオ「ドラえもん」

2班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|---------------------|--|---|--|---|
| 【E】 地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 労働時間が減り、仕事以外の活動が増える テレワークが進み、地域で仕事をする人が増える よりニッチな産業が生まれる | <ul style="list-style-type: none"> 単純労働で働いていた人が職を失う システムの維持管理費が増加する | <ul style="list-style-type: none"> これまでと違う仕事に就職するためのスキルが欲しい | <ul style="list-style-type: none"> アートやコンテンツ産業等余暇を活用できる産業を誘致する |
| 【F】 安全・安心・快適な暮らし | | <ul style="list-style-type: none"> サイバー犯罪等の新しい犯罪が生まれる | | |

複数シナリオ分析：シナリオ「メトロポリス」

2班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|----------------------------|---|--|--|--|
| 【A】 人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> ITは老若男女に普及しているため、それらを活用したオンライン申請等の取り組みをしやすい | <ul style="list-style-type: none"> SNSに自分の時間がとられる 多様な世界ではない インターネット依存で居場所がない人が増加する IT弱者が住みにくい | <ul style="list-style-type: none"> 依存症対策のためインターネットの規制をしてほしい インターネットでつながった人がリアルで集まれる場所・機会が欲しい | <ul style="list-style-type: none"> IT弱者に対する技術サポートをする 小さいコミュニティで集まれる場をつくる インターネットの依存症対策の教育や支援事業をする |
| 【B】 子育て・教育・文化 | | | | |
| 【C】 いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> SNSなどで自分の世界を広げられる人がいる アラームやGPSなどの技術の力で認知症の人を探せるようになる | | <ul style="list-style-type: none"> 閉鎖的な日本を抜け出し、世界へチャレンジするのを支援して欲しい | <ul style="list-style-type: none"> 留学や事業の海外進出支援をする |
| 【D】 街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> テレワークにより、日中の人口が増加する | <ul style="list-style-type: none"> どこに住んでもサービスの提供などに差がなく、松戸の独自性を打ち出しにくい 地元への愛着が薄れる | <ul style="list-style-type: none"> テレワーク等で日中の人口が増えるため日中住みやすい住環境にする 松戸の独自性を出してほしい | <ul style="list-style-type: none"> 松戸ブランドを形成する 松戸駅周辺の景観を改善する サテライトオフィスを充実させる |
| 【E】 地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 工場等の現場が合理化され、工業団地が活性化される IT企業が活性化している | <ul style="list-style-type: none"> 工場で雇用される労働者が減少する | <ul style="list-style-type: none"> 工場で働いていた人の再就職支援等のサポートをして欲しい | <ul style="list-style-type: none"> 業務を合理化できない企業へのアドバイス、マッチング等の支援をする これまでと違う職業につくための就職支援をする |
| 【F】 安全・安心・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 昼間人口が増えるため、災害対応について、常時マンパワーを期待した対応が可能 ITの活用により、災害時の被災状況を把握しやすい | <ul style="list-style-type: none"> 技術（センサー、カメラ、インターネット上で得られるデータ）等の使い方によってはプライバシーが侵害される 避難所内で属性別（国籍等）にコミュニティが分かれる | <ul style="list-style-type: none"> プライバシーを確保して欲しい | <ul style="list-style-type: none"> マンパワーを活用した災害対策ができるよう訓練等、体制を整える |

複数シナリオ分析：シナリオ「となりのトトロ」

2班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|----------------------------|--|---|---|--|
| 【A】 人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティ形成のチャンス 外国人との交流により発想を吸収できる | <ul style="list-style-type: none"> 役所の業務が、多様な人々の対応により煩雑になる 人と人とのつながりで問題解決をする必要があり、対人能力が低い人は適応が困難になる | <ul style="list-style-type: none"> 多様な人のニーズを把握し、取りまとめるコミュニティをささえる人が欲しい | <ul style="list-style-type: none"> 自治会・町会の役割の明確化と市との連携のしくみづくりをする 多文化が共生する中で、どのような「お互い様」が必要なのか、ニーズを把握し、共助とは何かを再構築する 多言語化を進める 行政職員に外国人や障害者の採用をさらに進め、よりニーズを把握した施策につなげる AI翻訳や障害者向けの感情認識等を活用したコミュニケーション支援技術の開発 |
| 【B】 子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> 家事育児を地域や多世代と分担してできることで人と人とのつながりが濃くなる | | <ul style="list-style-type: none"> 語学を学びたい 多様な人との対話スキルに対する教育が必要 | <ul style="list-style-type: none"> 多様性を学ぶ教育の充実 コミュニケーション教育の強化 言語教育の充実 外国人へ日本文化を伝える |
| 【C】 いきいきとした暮らし | | | | |
| 【D】 街の魅力や居心地 | | | | |
| 【E】 地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者に関する仕事が増加する | <ul style="list-style-type: none"> IT技術の導入コストが高い | | |
| 【F】 安全・安心・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 国際交流をとおして外国人とも防災時の協力ができるような相互理解を図ることができる 障害への理解が高まり、災害時の助け合いにつながる | <ul style="list-style-type: none"> 災害弱者には、人の能力で対応する必要がある | <ul style="list-style-type: none"> 犯罪を減らす 防災のしくみづくりをする | <ul style="list-style-type: none"> 地域パトロール人材を確保する |

複数シナリオ分析：シナリオ「スラムドッグ ミリオネア」

2班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|------------------------|--|--|--|--|
| 【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 現在との変化が大きいため、変化を求めない人々は生きやすい | <ul style="list-style-type: none"> ITを活用する能力差が所得の格差につながる | <ul style="list-style-type: none"> 格差を解消する 生活がしやすい人のハード、ソフト面での支援をして欲しい | <ul style="list-style-type: none"> 貧富の差への対策をする |
| 【B】子育て・教育・文化 | | <ul style="list-style-type: none"> 学校で多様な児童・生徒を受け入れる体制を整えられない | <ul style="list-style-type: none"> 多様性を受け入れる教育をして欲しい | <ul style="list-style-type: none"> フリースクール等の仕組みづくりをする |
| 【C】いきいきとした暮らし | | | | |
| 【D】街の魅力や居心地 | | <ul style="list-style-type: none"> 多様性への理解が得られずバリアフリー対応などが進まず、障害者や高齢者が住みづらい | | |
| 【E】地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 外国人や高齢者が感じているギャップを埋める産業が伸びる | | | |
| 【F】安全・安心・快適な暮らし | | | | |

ワーク(2)：ベースシナリオの松戸市への影響

3班

| | チャンス | リスク |
|------------------------|---|---|
| 【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 少子化により子育ての重要性が見直されるため育休が取りやすくなる可能性がある 働く女性が増え、労働力不足を補う 高齢者が働くことで税収が増加する 国際交流が活性化する | <ul style="list-style-type: none"> 多様化による衝突がおこる 福祉の需要増加による税負担の増加 単身世帯の増加で、人とのつながりが希薄化する 文化の違いによる生活の違いが大きくなる |
| 【B】子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> 異文化交流が活性化する コスプレ、e-sportsなどの文化が多様化する プログラミング教育の導入と高度化 小児医療が充実する | <ul style="list-style-type: none"> ネット社会化により、同類同士のみでの交流になる 異なる文化的背景を持つ人が増加することにより、いじめ等が増加する可能性がある 教育環境づくりのための教育コストが増加する |
| 【C】いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 医療技術が進歩する 定年が上がるため、働く高齢者が増加する 新たな高齢者産業が創設される可能性がある 時間がある高齢者が孫の面倒を見てくれる 健康寿命がのびる | <ul style="list-style-type: none"> 高齢化がさらに進む 老人ホームの入所費用による格差 団地が過疎化する 都市圏からの高齢者や障がい者の流入による施設不足 特養が不足する |

ワーク(2) : ベースシナリオの松戸市への影響

3班

| | チャンス | リスク |
|-----------------|--|---|
| 【D】街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> 技術進化により交通アクセス手段が増加する可能性がある 公共交通機関が充実している 再開発によるバリアフリー化 外国人が増加し、外国人に街の魅力を発信してもらえる 自動運転技術が発展する | <ul style="list-style-type: none"> 気候変動の影響により、大雨が降り、河川が氾濫の危険が高まる |
| 【E】地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 外国人が増加し、労働人口不足をカバーできるようになる 雇用の創出や雇用の多様化 都市圏近郊の土地需要が高まる AIにより新しい仕事が増加する | <ul style="list-style-type: none"> 住宅地開発に伴う農地の減少 AIの発達により現在は人が対応している仕事が減少する可能性がある |
| 【F】安全・安心・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 高度な防犯カメラが整備され犯罪が減少する | <ul style="list-style-type: none"> 監視社会化が進み、プライバシーが減少する 空き家が増加することで犯罪が増加する 文化の違いにより、外国人住民との間でごみ分別問題が発生する可能性がある 外国人増加による治安悪化の心配がある |

ワーク(3) : ベースシナリオを元にしたニーズの検討

3班

| 切り口 | ニーズ |
|------------------------|--|
| 【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者や外国人にも対応した地域コミュニケーションの充実 隣人と仲良くするなど、町会、自治会に参加しやすい環境づくり |
| 【B】子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> 兄弟が同一の保育所に入れるようにする 5月以降の待機児童の解消 |
| 【C】いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 都内に近いので最新技術を導入しやすい 介護(福祉)タクシーなどによる高齢者の移動サポート 単身世帯のサポート体制の強化 安価な住宅の供給 在宅医療の充実 高齢者が働いたり、楽しめる居場所の拡充 |
| 【D】街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者などにも住みやすい高機能マンションを増やす 桜並木を維持する(参考: https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000091.000015010.html) 老人のスポーツ場と子どもの公園の拡充 道路の拡幅 都内に近いことを活かして外国人観光客が訪れやすくなる |
| 【E】地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者などさまざまな立場の人が働く場所の創出 |
| 【F】安心・安全・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 歩道の段差を解消するなどのバリアフリー化 交通事故ゼロの環境づくり 雨水タンクコンポストや太陽光発電の利用増加 |

ワーク(4) : ベースシナリオを元にした戦略オプション検討

3班

| 切り口 | 取り組み |
|------------------------|--|
| 【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 市民の語学力を強化する ポケットークなどを普及させる 高齢者、外国人含め地域コミュニケーションを充実させる 隣人と仲良く、町会・自治会に参加しやすくする |
| 【B】子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> 5月以降の待機児童を解消させる 駅前保育施設を充実させる 兄弟姉妹を同一の保育施設に入れるようにする |
| 【C】いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 仕事・楽しみ共に高齢者の居場所を多くする 在宅医療を充実させる 介護タクシーなどで高齢者の移動をサポートする 単身世帯のサポート体制を整える 老人のスポーツ場と子どもの公園の拡充 |
| 【D】街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> 道路幅を拡張する 高齢者などが住みやすい高機能マンションを増やす 空き家を管理して安く貸せるようにする 桜並木を維持する(参考: https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000091.000015010.html) |
| 【E】地域経済・働き方 | — |
| 【F】安全・安心・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 歩道の段差解消、バリアフリー化を進める 交通事故ゼロを目指す ごみ分別をしやすくする |

ワーク(5) : 複数シナリオの内容の再確認

3班



複数シナリオ分析：シナリオ「太陽のマンゴー」

3班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|----------------------------|---|--|--|---|
| 【A】 人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 誰でも住みやすい街をPRすることで人口増につなげる 国際結婚がしやすくなる | <ul style="list-style-type: none"> 外国人の増加によって、習慣や文化の違いによってトラブルになる | <ul style="list-style-type: none"> お祈りする場所などの宗教施設が必要 | <ul style="list-style-type: none"> 世代・文化を越えた交流や学習機会を推進する 若者が町会・自治会に参加しやすい環境を作る |
| 【B】 子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> 自分の長所・強みを活かしやすい 外国人の子育てがしやすい | | <ul style="list-style-type: none"> 学校・病院などでハラルなどの宗教食を提供する 学校の授業でのタブレット端末活用 | <ul style="list-style-type: none"> 異文化の理解を促進する教育を行う 異文化に関する勉強会、学習教室を開催する 多言語・無音声に対応するタブレットを授業に導入する |
| 【C】 いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 多様性理解が進んだことで固定観念に縛られずにのびのびと何にでも挑戦でき、あらゆる分野で活躍が広がる | | <ul style="list-style-type: none"> 特に独居老人などの高齢者へ情報通信技術などを使ってサポートする | |
| 【D】 街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> 外国人の増加によって、日本の良さ、あるいは松戸の良さを世界に発信しやすくなるチャンスとなる | <ul style="list-style-type: none"> 伝統・歴史が軽視される ユニバーサルデザインの整備費用が増える | <ul style="list-style-type: none"> お祭りなどの伝統を継承する | |
| 【E】 地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 農業参入へのハードルが技術革新により下がる | <ul style="list-style-type: none"> 資力の低い移住者の増加により、生活保護などの費用が増える 仕事の種類が減ったり、無くなることで、それまでの経験が活かせなくなる | <ul style="list-style-type: none"> 農業参入などへのさらなる規制緩和がされる | <ul style="list-style-type: none"> ネット上での売買の場を市が提供することで在宅で収入が得られるような新しい働き方の創出を促す 企業内保育施設の充実を促す |
| 【F】 安全・安心・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 技術革新と多様性(個性)理解により犯罪が減少する | <ul style="list-style-type: none"> 監視カメラなどの技術革新によりプライバシーの侵害が起きる | | <ul style="list-style-type: none"> プライバシー配慮への啓発活動を行う |

複数シナリオ分析：シナリオ「理解が足りないドリアン」

3班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|----------------------------|---|---|---|---|
| 【A】 人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | | <ul style="list-style-type: none"> コミュニティの中での限定的なコミュニケーションが広がる 文化の差により外国人を理解しづらい 他者への理解不足により集団での合意に時間がかかる、もしくはトラブルが増える | <ul style="list-style-type: none"> トラブル相談所を設ける 同一の問題を抱える人たちや同一環境の人たちのためのコミュニティの創設 | <ul style="list-style-type: none"> 世代・文化を越えた交流や学習機会を推進する 異文化交流イベントを開催し、活性化させる 異なる文化的な慣習を持つ人などのニーズに特化した居住区を作る |
| 【B】 子育て・教育・文化 | | | <ul style="list-style-type: none"> 技術についていけない人たちの学ぶ場を作る | <ul style="list-style-type: none"> 教室などで新技術を導入しやすくする |
| 【C】 いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 元気な高齢者が増える | | <ul style="list-style-type: none"> 独居高齢者へのIT機器の操作方法のサポートをする 高齢者の移動手段を増やす | <ul style="list-style-type: none"> 新技術情報などを提供する、高齢者向けの場を開催する |
| 【D】 街の魅力や居心地 | | | <ul style="list-style-type: none"> 多様な人々が住みやすい住環境やコミュニティの創設 | |
| 【E】 地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 外国人が住みやすい街づくりを推進すれば外国人が増え、松戸を活性化できる | | <ul style="list-style-type: none"> 多様な文化や立場の人たちの働き方に対応した職場・住環境が整備される | |
| 【F】 安全・安心・快適な暮らし | | <ul style="list-style-type: none"> 被災時など日常生活とギャップがある時に混乱が起こりやすい 技術に強い人々による犯罪が増える | <ul style="list-style-type: none"> 被災時にきちんと情報が得られて安心できる対応策 | |

複数シナリオ分析：シナリオ「毎日食べたいバナナ」

3班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|----------------------------|---|---|---|---|
| 【A】 人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 居心地がいいやさしディ 人が助け合う ボランティア活動が活性化している | <ul style="list-style-type: none"> 外国人は増えるのに言語や文化面での対応が追いつかない 外国語などを個人が身につけなければいけない | <ul style="list-style-type: none"> バリアフリー対応などを進める | <ul style="list-style-type: none"> 世代・文化を越えた交流や学習機会を推進する マイノリティへの理解をより高める |
| 【B】 子育て・教育・文化 | | | | |
| 【C】 いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 相互扶助が浸透していることでボランティア活動が活性化される | | <ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動の送り手と受け手のマッチング | <ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動を推進する |
| 【D】 街の魅力や居心地 | | | | |
| 【E】 地域経済・働き方 | | <ul style="list-style-type: none"> 技術にアクセスできない人を行政がサポートする費用が増加する 買い物や申請などのために外出する負担が増える | <ul style="list-style-type: none"> 新技術活用ができるようになる | <ul style="list-style-type: none"> シニアなどが新技術を活用できるようになるためのサポートを行う |
| 【F】 安全・安心・快適な暮らし | | <ul style="list-style-type: none"> 緊急時の外国人とのコミュニケーションスキル(ツール)がない | <ul style="list-style-type: none"> 緊急時の外国人とのコミュニケーションツールの利活用 | <ul style="list-style-type: none"> 緊急時の外国人とのコミュニケーションツールの貸与や無償貸出を行う |

複数シナリオ分析：シナリオ「しぶい渋柿」

3班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|----------------------------|--|---|---|--|
| 【A】 人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> (外国人の相談件数の増加により)外国人とのコミュニケーションをとるチャンスが生まれる 変化を好まない人には居心地が良い | <ul style="list-style-type: none"> SNSやネット社会がさらに広がることで自分と価値観の近い人しか交流しない 地域活動に外国人が参加しにくい | <ul style="list-style-type: none"> 町会単位で外国人をサポートする 回覧板などの内容の翻訳 コミュニティー毎に外国人がなじみやすい街づくりを求める 外国人でも情報アクセスできる | <ul style="list-style-type: none"> 世代・文化を越えた交流や学習機会を推進する 異文化理解への啓発を行い、講演やイベント、お祭りなどの交流機会をもっと増やす 地域活動に外国人が参加しやすくする 外国人が情報にアクセスしやすい環境を作る |
| 【B】 子育て・教育・文化 | | | | <ul style="list-style-type: none"> 留学、ホームステイを推進する 学校教育の中で多様性を学ぶ機会・授業を促進する |
| 【C】 いきいきとした暮らし | | | | |
| 【D】 街の魅力や居心地 | | | | |
| 【E】 地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 機械よりも人が働いているので雇用のチャンスが増える | <ul style="list-style-type: none"> 人件費がかかる 外国人の文化(働き方)が日本の企業と馴染まない可能性がある | | |
| 【F】 安全・安心・快適な暮らし | | | | |

ワーク(2) : ベースシナリオの松戸市への影響

4班

| | チャンス | リスク |
|------------------------|---|---|
| 【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 外国人市民が増加し、異文化共生、多文化共生が進む 少子高齢化で地域の担い手が減少する | <ul style="list-style-type: none"> 外国人市民の増加で、生活習慣、文化的背景の違いによるトラブルが増加する |
| 【B】子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> 文化の多様性の広がりにより、国際交流や外国人タウンが現れ、語学への関心も高まる 教育スタイルやカルチャーが多様化する | <ul style="list-style-type: none"> 言葉が通じない外国人に対する教育が困難になる 外国人の子どもへの教育など、対応が増加する 子どもに対して配分できる予算が減少する AIの普及により、リアルコミュニケーションが減少する 学歴史上主義の風潮が色濃く残っている |
| 【C】いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 健康寿命が延び、労働年齢が上がる ウェアラブル端末など、IT機器によるヘルスケア管理が進む | <ul style="list-style-type: none"> 墓地が不足する 少子高齢化が進み、単独世帯が増加する 後期高齢化率が上昇することで、老々介護やダブルケアなどの介護負担が増加する 介護施設に入居できないことによって老々介護が発生するなど、各自の介護負担が増加する 外国人の高齢化が進む |
| 【D】街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> 空き家の活用により、芸術文化が発展する | <ul style="list-style-type: none"> 公共施設が老朽化する 空き家が増加する 財源不足のため、こまやかなバリアフリーの対応ができない |

ワーク(2) : ベースシナリオの松戸市への影響

4班

| | チャンス | リスク |
|-----------------|---|---|
| 【E】地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 都市圏近郊という立地を生かした工場誘致が増加する | <ul style="list-style-type: none"> 後継者不足による空き店舗の増加 |
| 【F】安全・安心・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> AIやIT技術の進化により緊急時の対応がスムーズになる AIやIT技術の進化により犯罪が減少する | <ul style="list-style-type: none"> AIやITの進化により防犯カメラが増加するなど、監視社会化が進み、プライバシーが侵害される 空き家対策が行き届かないことで犯罪が増加し、街がスラム化する |

ワーク(3) : ベースシナリオを元にしたニーズの検討

4班

| 切り口 | ニーズ |
|------------------------|---|
| 【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者、外国人、子どもが共生して欲しい 行政サービスの申請や投票などを電子化して欲しい 歩くのが楽しい街にして欲しい ユニバーサルデザインなど、誰でも簡単に活用できる施設を作って欲しい |
| 【B】子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> 多文化共生が進むので、文化や生活の違いを認め合う風潮が広まって欲しい ベトナムタウンなどの、外国人街ができて欲しい さまざまな多様性に合わせた教育環境を整備して欲しい 公園など、子どもが安全に遊べるような場所を増やして欲しい |
| 【C】いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者でも元気で長く働けるようになりたい 認知症の人手も安心して暮らせる社会にして欲しい 豊かな暮らしを手に入れるための仕事が欲しい |
| 【D】街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> 様々な飲食店が増加して欲しい 新規で出店する機会が欲しい 公園が充実して欲しい 空き家カフェが欲しい |
| 【E】地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 介護負担を減らすことで、介護をしながらでも働けるようにして欲しい |
| 【F】安心・安全・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 緊急時に早急に救助してくれる仕組みを整備してほしい 地域コミュニティーごとに、非常時における対策や防犯を強化して欲しい |

ワーク(4) : ベースシナリオを元にした戦略オプション検討

4班

| 切り口 | 取り組み |
|------------------------|--|
| 【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 外国人や高齢者、障がいを持つ方などを積極的に受け入れる地域コミュニティの場を作ることで、どんな人でも共生できるように支援する 町会、消防団、自治体などの地域連携を強めることで、人間関係を強化し、地域の担い手となる協力者を増やす 時間帯やサービスなど、行財政の運営方法、体制を見直し、電子化を進めるなどをして効率的に運営できるように改善する 先輩外国人が同じ国出身の外国人を支援すると、同郷の外国人同士が助け合える環境を整備する |
| 【B】子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> 松戸市にある4つの大学の専門性をいかして(園芸、歯科、政経、子ども)、専門性の高い教育環境を強化する AIやデータ分析技術を活用して、各個人に適切な教育コンテンツを提供する 休日に学校を開放して利用できるようにするなど、子どもが安全に遊べる環境を整備する 地域の高齢者に協力してもらい、保護者の代わりに子どもの面倒を見てもらえるようにする |
| 【C】いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 健康診断の実施を促進することで、予防医療や早期治療を支援する お店にシールを貼るなどして、認知症の方や障がいをもつ方も受け入れる意思を提示する デジタル社会化によって必須となるITリテラシーを身に付けられるよう、高齢者への教育を実施する |
| 【D】街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> 松戸市で出店する人への支援をする 公園の修繕改修計画の財源を確保する 空き家を芸術家などに貸し出す仕組みを作る 中心市街地の計画を具体化させる 古民家などの空き家スペースを活用してカフェをオープンする人を支援することで、街を活性化させ、人ががけたくなる街づくりをする 空き物件を使用してもらうために、補助をするなどの施策をうつ |

ワーク(4) : ベースシナリオを元にした戦略オプション検討

4班

| 切り口 | 取り組み |
|-----------------|---|
| 【E】地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 企業誘致のために、松戸市としての誘致テーマを策定する 若手農業従事者が活躍している情報を発信する 若手系経営者が、横のつながりをさらに強化できるように支援する ダブルケアによる離職率増加に対する施策をうつ |
| 【F】安全・安心・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> AI、デジタルシステムを活用した情報発信の整備や、緊急対応策の導入 市民を災害、犯罪から守るツールを導入すると同時に、それが確実に機能、普及するような運営体制も強化する 防災、防犯対策のために、地域のネットワークを強化する |

ワーク(5) : 複数シナリオの内容の再確認

4班



複数シナリオ分析：シナリオ「日の出-Sunrise-」

4班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|----------------------------|---|--|--|--|
| 【A】 人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 外国人の流入増加にともない、松戸にも世界各国から人が移住してくることで人口が増加し、税収が増える 多様性を認め合う価値観が浸透しているため、誰もがチャレンジできる風潮がある | | <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションが苦手な人や、精神的に弱い人も生きやすいように、言葉にしなくても考えていることが相手に伝わるツールが欲しい | <ul style="list-style-type: none"> 新技術を生み出すスペシャリストを育成するための教育環境や学校を整備する ITリテラシーを強化するための、IT教育を実施する |
| 【B】 子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> 企業や外国人の受け入れ促進により、外部からの人口流入が増加する | | <ul style="list-style-type: none"> 多様性のある子どもの保育事故を予防してほしい | |
| 【C】 いきいきとした暮らし | | | | |
| 【D】 街の魅力や居心地 | | | | |
| 【E】 地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 健康寿命が延びるため、高齢者でも働ける テレワークが増加するなど、働き方が多様化する | <ul style="list-style-type: none"> 外国人流入にともなう松戸市の人口増加により住宅地が増えるため、商工業が市外に流出してしまう 単純労働者による仕事が減少する | <ul style="list-style-type: none"> 商工業において、既存事業は継続できるように支援し、新規事業を誘致してほしい | <ul style="list-style-type: none"> 外国人や障がい者、高齢者など、あらゆる人が個性を生かして働ける環境を整備する 既存事業の支援や新規事業を誘致する |

複数シナリオ分析：シナリオ「日の出-Sunrise-」

4班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|---------------------|------|---|--|--|
| 【F】 安全・安心・快適な暮らし | | <ul style="list-style-type: none"> 新技術の発展と浸透により、新しい犯罪が生まれる プライバシーが侵害される | <ul style="list-style-type: none"> サイバー犯罪を防止するために、ネットパトロールや被害者への救済措置の強化をして欲しい | <ul style="list-style-type: none"> 警察と民間企業が連携を強化することで、新しい犯罪やテロに備える 市民があらゆる情報を1つのツールでスムーズに取得できるようにする。現在は管理体制が整備されていないので、管理体制と情報整理、情報のデータ化と集約、運営体制の整備をおこなう。第一ステップとして、現在市内の約3,000箇所に設置している掲示板を電子化する |

複数シナリオ分析：シナリオ「夕暮れ-Twilight-」

4班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|----------------------------|--|--|--|--|
| 【A】 人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | | | <ul style="list-style-type: none"> 人とのつながりが希薄になるために、人と直接触れあえる機会が欲しい 人とのつながりを求める人にとって、生きやすい社会にして欲しい | <ul style="list-style-type: none"> 大人も子ども楽しめるスポーツ施設など、若年層やファミリー向けが楽しめる場を作る 街で人がリアルに交流するための公園などを作る イベントなどを実施し、人が交流する機会を創出する |
| 【B】 子育て・教育・文化 | | <ul style="list-style-type: none"> 一人でも生きていける社会なので、未婚率の上昇と出生率の低下が悪化する | | <ul style="list-style-type: none"> 若年層やファミリー層を外部から呼び込むための施策をうつ |
| 【C】 いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 技術の進化と広まりにより、人の助けがなくても技術が補ってくれる社会なので、人の手を借りずに一人でも生きることができる | | | |
| 【D】 街の魅力や居心地 | | <ul style="list-style-type: none"> 人が外出する機会が減るので、飲食店などの実店舗が減少する | | |
| 【E】 地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 新技術の普及により、労働者を雇う必要が減るため、人件費が削減できる 新技術の普及により、労働者の労働時間や負担が軽減される | | <ul style="list-style-type: none"> 収入を得るための仕事が欲しい 働けなくても生きていけるよう、生活保障を手厚くしてほしい | |
| 【F】 安全・安心・快適な暮らし | | <ul style="list-style-type: none"> 急速な新技術の進展についていけない人が取り残される 災害時や緊急時において、多様性のある人への対応が困難にある | | <ul style="list-style-type: none"> ITリテラシーがない情報弱者に対して救済措置をする さまざまな市民が情報を即時に取得できるように、ITや新技術を活用した町会掲示板のデジタル化、および多言語化など、多様性のある人への情報発信力を強化する |

複数シナリオ分析：シナリオ「夜明け前-Dawn-」

4班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|----------------------------|---|--|---|---|
| 【A】 人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> コミュニティやイベントが活性化するため、人が集まる機会が増える | <ul style="list-style-type: none"> コミュニティになじめない人が、引きこもりになる可能性が高くなる | <ul style="list-style-type: none"> コミュニティを構築したり、イベントを開催するための、場所、資金、人員が欲しい | |
| 【B】 子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> 良好な人間関係によって、助け合いの仕組みが築かれ、子育てがしやすくなる 人の関わり合いが増えるので、出生率が増加する | | <ul style="list-style-type: none"> さらに子育てがしやすい社会にして欲しい | <ul style="list-style-type: none"> 24時間稼働している保育所をつくる |
| 【C】 いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 孤独死が減少する | <ul style="list-style-type: none"> 人づきあいが苦手な人が孤立化する | <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションを取ることが苦手な人が、ストレスを発散するための場所が欲しい | |
| 【D】 街の魅力や居心地 | | <ul style="list-style-type: none"> 人口が増加することで住居の需要が高まり、住宅地の開発が活発になる。その結果、自然や緑が減少する。 | <ul style="list-style-type: none"> 街に自然や公園、農地を残して欲しい | <ul style="list-style-type: none"> 街に自然や緑、公園、農地を残すために、条例を整備する |
| 【E】 地域経済・働き方 | | <ul style="list-style-type: none"> 電子マネーが普及することで、金融(投融資)が悪化し、地域の中小企業が衰退する | | |
| 【F】 安全・安心・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 人間関係が良好で、助け合える世の中なので、非常時でも生き抜きやすい | <ul style="list-style-type: none"> 人の信頼につこんだIT詐欺が発生するなど、過去に事例がない詐欺(犯罪)が発生する 人口増や街の開発に伴い、負担が増加する下水やゴミの処理が追い付かない | <ul style="list-style-type: none"> 新たな犯罪の防犯と対応の強化をして欲しい | <ul style="list-style-type: none"> 直近の事例を紹介するなど、最新情報を発信することで、犯罪抑止の啓発運動をおこなう 増加する下水やゴミ処理に対応するためのインフラ整備 |

複数シナリオ分析：シナリオ「闇夜-Dark Night-」

4班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|------------------------|---|---|--|---|
| 【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 多様性への対応や、新技術への適応が苦手な人にとっては住みやすい | <ul style="list-style-type: none"> 収入の差が広がることで、生活水準に大きな格差がでる | <ul style="list-style-type: none"> 低所得者の生活水準を底上げするために、生活補助をして欲しい | |
| 【B】子育て・教育・文化 | | | <ul style="list-style-type: none"> 外国の方にも、日本の生活文化を理解してもらいたい 外国の方が学習できるように、格安の日本語教室を開いてほしい 多様性のある子どもに適切な保障や教育環境を整えてほしい | |
| 【C】いきいきとした暮らし | | | | |
| 【D】街の魅力や居心地 | | <ul style="list-style-type: none"> 公共施設や空き家の老朽化、景観や治安の悪化など、街が衰退する | | |
| 【E】地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 専門性や高度な技術をもった特定分野の賃金単価が向上する 単身者をターゲットとした、ビジネスチャンスが増加する | <ul style="list-style-type: none"> 単純労働者の賃金が低下する 特定分野の賃金が高騰する | | |
| 【F】安全・安心・快適な暮らし | | <ul style="list-style-type: none"> 治安が悪化し、街の公共施設や交通が老朽化する | | <ul style="list-style-type: none"> 老朽化した街の公共施設や交通を整備する |

ワーク(2)：ベースシナリオの松戸市への影響

5班

| | チャンス | リスク |
|------------------------|---|--|
| 【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 外国人の流入が増える 子育ての支援が手厚く、女性が働きやすい環境が整う 外国人の増加により国際交流が盛んとなり、街の多様性が魅力となる | <ul style="list-style-type: none"> 福祉事業にお金が行き過ぎて他が手薄になる 単身世帯の増加により人間関係が希薄になる |
| 【B】子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> 外国人の増加で国際交流が自然にできるようになる 外国の文化に触れる機会が増える 外国人増加により語学に関心が深まる | <ul style="list-style-type: none"> 多様性の複雑化による様々な問題が増える |
| 【C】いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 病院やクリニックが多く医療ニーズに応えやすい | <ul style="list-style-type: none"> 団地の過疎化 東京から要介護の高齢者が流入する 介護のため仕事ができない人の増加 高齢化による医療機関が圧迫される 老々介護の増加 外国人・高齢者の増加に対して設備や仕組みが追いつかない |
| 【D】街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> 緑が多く、東京への近さがますます強みになっている 住宅地需要が増加する | <ul style="list-style-type: none"> 河川の氾濫 物流等の増加による交通の混雑 空き家・空き店舗の増加 インフラの老朽化 |
| 【E】地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 外国人の増加で様々な店が増える 物流拠点となっている | <ul style="list-style-type: none"> 商店街の衰退 |

ワーク(2) : ベースシナリオの松戸市への影響

5班

| | チャンス | リスク |
|-----------------|---|--|
| 【F】安全・安心・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 再生エネルギー利用の増加 省エネ性能を持った環境に優しい家づくりが進んでいる | <ul style="list-style-type: none"> 日本語がわからない外国人の増加によるごみ分別問題 空き家の増加に伴い、防犯・防災に対する負担が増加 高齢者・外国人が多いので、災害の際の避難が難しい 高齢者の増加で救急の受け入れが難しい 孤独死が多い |

ワーク(3) : ベースシナリオを元にしたニーズの検討

5班

| 切り口 | ニーズ |
|------------------------|---|
| 【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 外国人(様々な国)の相談先(相手)が欲しい 自国の文化・言語を生かした仕事・活動がしたい 子育てしながらできる仕事がしたい 交流の場が欲しい |
| 【B】子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> 教育の無償化 給食の無償化 お互いの文化を尊重して欲しい 身近な外国人から言語や文化を教えてもらいたい |
| 【C】いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 自宅で介護をされている方は自分たちだけで抱えなくて済むような支援を必要としている 老人ホームなどの設備を充実して欲しい 高齢になっても元気に暮らしたい |
| 【D】街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> 空き家をどうにかしたい、空き家を使いたい 河川の氾濫のリスクが高いエリアを中心に「もしも」の時の為の講座を開いて欲しい 東京上野ラインの本数を増やして欲しい 道路幅が狭い所、舗装がはがれてガタガタな道を直して欲しい 各地区の特徴を知りたい |
| 【E】地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 物流の拠点として物を置いておける場所を必要としている |

ワーク(3) : ベースシナリオを元にしたニーズの検討

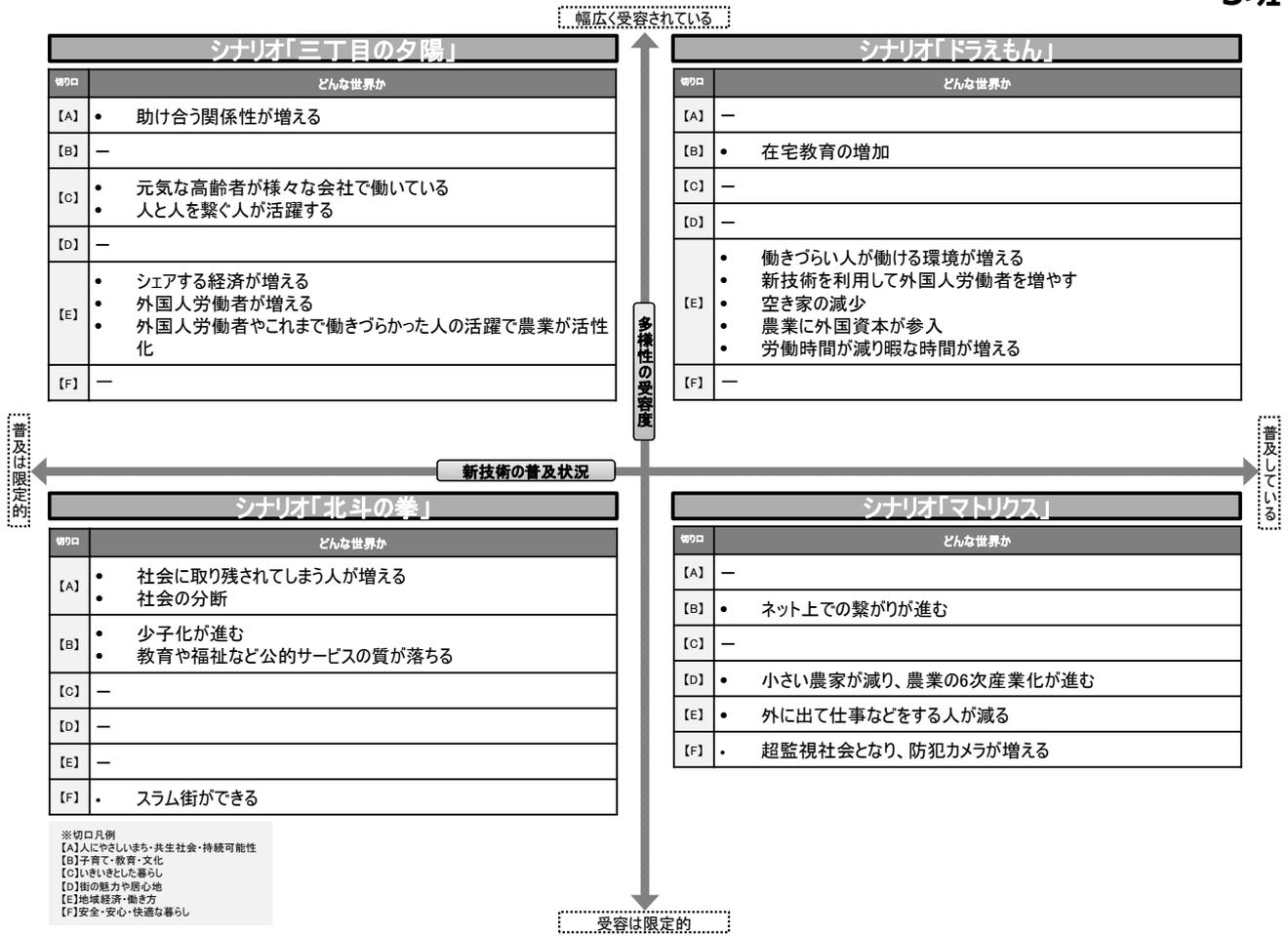
5班

| 切り口 | ニーズ |
|-----------------|---|
| 【F】安心・安全・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 救急外来や病院を増やして欲しい 外国人にもわかりやすい様々な言語での表記にして欲しい 外国人には生活する上でのルールに従って欲しい 一人暮らしの高齢者は定期的な訪問を必要としている 住民は空き家についての活用を期待している |

ワーク(4) : ベースシナリオを元にした戦略オプション検討

5班

| 切り口 | 取り組み |
|------------------------|--|
| 【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 外国人、障害者、高齢者などが活躍できる仕事や活動のマッチングができる仕組み 様々な国の外国人の相談窓口となる「ミニ大使館」を作る 外国人や高齢者など気にかけてくれる人(相談ができる人)を作る |
| 【B】子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> 制度として外国の言語・文化を学ぶ機会や仕組み作り 廃棄される食材を学校へ給食の食材として受け入れる仕組みづくり |
| 【C】いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 老後、終末の暮らしを選択できる場づくりを進める 成年後見人になれる人の育成 |
| 【D】街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> 空き家の登録、遺贈や破棄ができる仕組みを整える 空き家の所有者と買手を繋げる空き家バンクの仕組み 外国人、障害者、高齢者など様々な人が活躍できる機会や状況を生み出しマッチングできる人の育成 車椅子用、外国人用の市内の経路Map 移り住む人向けの市内の特徴を示したMap |
| 【E】地域経済・働き方 | — |
| 【F】安全・安心・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 独居高齢者を把握できる仕組み 災害対策講座(予防策、対応策)の開設 |



複数シナリオ分析 : シナリオ「ドラえもん」

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|-----------------------------------|---|-----|---|---|
| 【A】 人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | • 外国人が増えて人口増加 | | | |
| 【B】 子育て・教育・文化 | • 既存の学校以外の色々な学び方が増えている | | • フリースクール(選択制の学校)の充実 | • 教育の多様化に向けた施策の検討会 • 自転車通学及び学区外通学の承認 |
| 【C】 いきいきとした暮らし | | | | |
| 【D】 街の魅力や居心地 | • 技術の進化・浸透により渋滞が減っている | | | |
| 【E】 地域経済・働き方 | • 労働力の確保ができています • 物流センターが盛えている • 国内外に発送・輸出できるような農業は発展している | | • 物流拠点として物を置いておける土地が必要 | |
| 【F】 安全・安心・快適な暮らし | | | • 誰がどこに住んでいるのかなどの個人情報の管理及び活用した災害時のリスク対応 • 技術を生かした防犯や事故防止に向けた取り組み | |

複数シナリオ分析：シナリオ「マトリクス」

5班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|----------------------------|---|---|---|---|
| 【A】 人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションが苦手な人もSNSのようなコミュニケーション手段が進化し生きやすくなっている | <ul style="list-style-type: none"> 人口が流出している リアルな人との交流が少ない 人とのトラブルが増える | <ul style="list-style-type: none"> リアルに人と話ができる場所 多様な住民によるトラブル時に間に入ってくれるような人、役割の存在 | <ul style="list-style-type: none"> 地域の中で多様な人たちの調整ができる人の育成 |
| 【B】 子育て・教育・文化 | | | | |
| 【C】 いきいきとした暮らし | | <ul style="list-style-type: none"> 外出の機会が減る 社会参加が減り、うつ病の人が増える | <ul style="list-style-type: none"> 健康対策としてのスポーツ施設の充実 社会参加の場が欲しい | <ul style="list-style-type: none"> 位置情報ゲーム等を利用した社会参画を促す仕組み |
| 【D】 街の魅力や居心地 | | | | |
| 【E】 地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> ネット通販がさらに盛えている | <ul style="list-style-type: none"> 実店舗がなくなっている IT人材の不足 地元企業が減っている リモートワークの定着で公共交通の利用者が減っている | | <ul style="list-style-type: none"> 大規模サーバーを置くための冷却施設を作る IT企業が起業しやすい支援策 パークアンドライドの仕組み |
| 【F】 安全・安心・快適な暮らし | | | <ul style="list-style-type: none"> 個人情報の管理・活用を踏まえた災害時のリスク対応 技術を生かした事故防止に向けた取り組み | |

複数シナリオ分析：シナリオ「3丁目の夕陽」

5班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|----------------------------|---|---|--|---|
| 【A】 人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 外国人労働者が働きやすくなっている | | <ul style="list-style-type: none"> 通訳に関するサービス 地域コミュニティの強化 お墓の管理や冠婚葬祭の多様化に対する仕組み | <ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティに属する人のニーズに対応した人材を育成する仕組み マイナーな言語ができる人の養成 |
| 【B】 子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> 色々な宗教への理解が深まる | | <ul style="list-style-type: none"> 様々な宗教に対応した仕組み 松戸市の伝統文化を残していく仕組み | <ul style="list-style-type: none"> 松戸市の伝統文化を伝える機会 いろいろな国の方の支援ができるような人の育成(ミニ大使館) 神社等もコミュニティ作りに活かす |
| 【C】 いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 助け合いの文化が増えている | | <ul style="list-style-type: none"> 急に外出が必要になった時に誰かに、子ども・親を見ていて欲しい | <ul style="list-style-type: none"> 子どもを預かる、イベントが楽しいなど近所づきあいでメリットが感じられるような仕組み 地域の人材を育成する |
| 【D】 街の魅力や居心地 | | | | <ul style="list-style-type: none"> 自動運転を可能にする取り組み |
| 【E】 地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 外国人向けのサービスが活性化している 働く人が増え、税収が増えている | <ul style="list-style-type: none"> 住民が技術に関する知識や情報に関する格差が広がっている | <ul style="list-style-type: none"> 技術に関する知識や情報を得られるようにしたい | <ul style="list-style-type: none"> 技術に関する知識や情報を得られる機会の提供 |
| 【F】 安全・安心・快適な暮らし | | | <ul style="list-style-type: none"> 通学時の安全性 | <ul style="list-style-type: none"> 無電柱化 自転車道の整備 |

複数シナリオ分析：シナリオ「北斗の拳」

5班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|------------------------|--|--|--|---|
| 【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | | <ul style="list-style-type: none"> 社会保障費が減り、質も下がっている 少数派な人たち(外国人、障害者等)がおいでいかれる | <ul style="list-style-type: none"> 市の財源を生み出す仕組み 少数派な人たちの相談窓口の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 訪問ボランティアを増やす仕組み |
| 【B】子育て・教育・文化 | | | | |
| 【C】いきいきとした暮らし | | <ul style="list-style-type: none"> 在宅介護が増える 在宅介護をする家族が増える | <ul style="list-style-type: none"> 在宅介護に対する支援が欲しい | <ul style="list-style-type: none"> 在宅介護に対応できる仕組み |
| 【D】街の魅力や居心地 | | | | |
| 【E】地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 得意な分野を持っている人は(語学が堪能、ITに詳しい等)高収入が得られている | | | |
| 【F】安全・安心・快適な暮らし | | <ul style="list-style-type: none"> 治安が悪化 | <ul style="list-style-type: none"> 生活全般で困った時にどこに相談したらいいかの情報が欲しい 弁護士など専門機関への相談費用の社会的保障が欲しい 通学時の安全性 | <ul style="list-style-type: none"> 市役所の中に弁護士、税理士、医師等の専門職を置く 専門診療・診断をしやすくする 助けたら助けられるような仕組みづくり 無電柱化 自転車道の整備 |

ワーク(2)：ベースシナリオの松戸市への影響

6班

| | チャンス | リスク |
|------------------------|--|--|
| 【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者や子どもの見守りに地域の人も参加できる 外国人が増加し、地域での多様性が受け入れられる街になる 外国人が増えたと税収を維持できる | <ul style="list-style-type: none"> 個々のニーズに増えることによる税負担の増加 インフラ老朽化対策による費用負担増 外国人増加によるコミュニティの分断が起きる 多様な文化的背景を持つ人が増えることが心配 |
| 【B】子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> 多文化交流が増える テレワークが進み、親子の時間が増える | <ul style="list-style-type: none"> AI導入によるコスト増加 共働きによって、親子の関わりが薄れる 外国人増加により文化の違いによるいじめ問題が増える |
| 【C】いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 病院の多さを活かして、高齢者、子どもの暮らしやすさをアピールできる 高齢者が社会的役割をもつことで生活にやりがいが出る 健康寿命が延びると働ける人が増える | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者人口が増加し、要介護者が増加することで、施設の入居費用が増加 団地の過疎化が進む |
| 【D】街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> 公共施設が再編され、魅力ある場所に生まれ変わる 空き家を活用して安く住める環境を整備できる ダブルケアと空き家活用が進むことで、介護のために松戸市に現役世代が増える 空き家活用で人にやさしい街づくりができる | <ul style="list-style-type: none"> 公共施設の閉館の可能性 水道料金が水道施設の老朽化により高くなる 空き家の増加による街の景観が悪くなる |

ワーク(2) : ベースシナリオの松戸市への影響

6班

| | チャンス | リスク |
|-----------------|--|--|
| 【E】地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> ニーズの多様化によるコンテンツ産業の充実 働く女性が増加すると労働力も増加する | <ul style="list-style-type: none"> 働き過ぎによる過労の増加 |
| 【F】安全・安心・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> IoT技術や無線通信技術を活用した防犯カメラの進化により、リアルタイムでの安全確保のチャンス | <ul style="list-style-type: none"> 外国人労働者の増加による治安の悪化が心配 文化の違いによるごみ分別問題 空き家増加による犯罪の増加 防犯カメラ設置によるプライバシーの侵害 |

ワーク(3) : ベースシナリオを元にしたニーズの検討

6班

| 切り口 | ニーズ |
|------------------------|---|
| 【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 多様な生活、ニーズに合わせた細やかな住民の要望にも応えてほしい 外国人とよりコミュニケーションをとりたい |
| 【B】子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもを安心して遊ばせられる場所がほしい 国際社会に対応できる教育環境を提供してほしい |
| 【C】いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者でも誰でもわかるように、行政の手続きを簡素化してほしい 老後を安心して暮らせる街にほしい |
| 【D】街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> 交通が便利になり、行きたいところに行けるようになってほしい 自然豊かで、きれいな街にほしい 若い人にも魅力的な街になってほしい |
| 【E】地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもがいても働きやすい環境にほしい 家の近くで働きたい |
| 【F】安心・安全・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 犯罪が少ない安全な街にほしい ゴミの分別などの手間がなくなり、快適に暮らせるようになりたい |

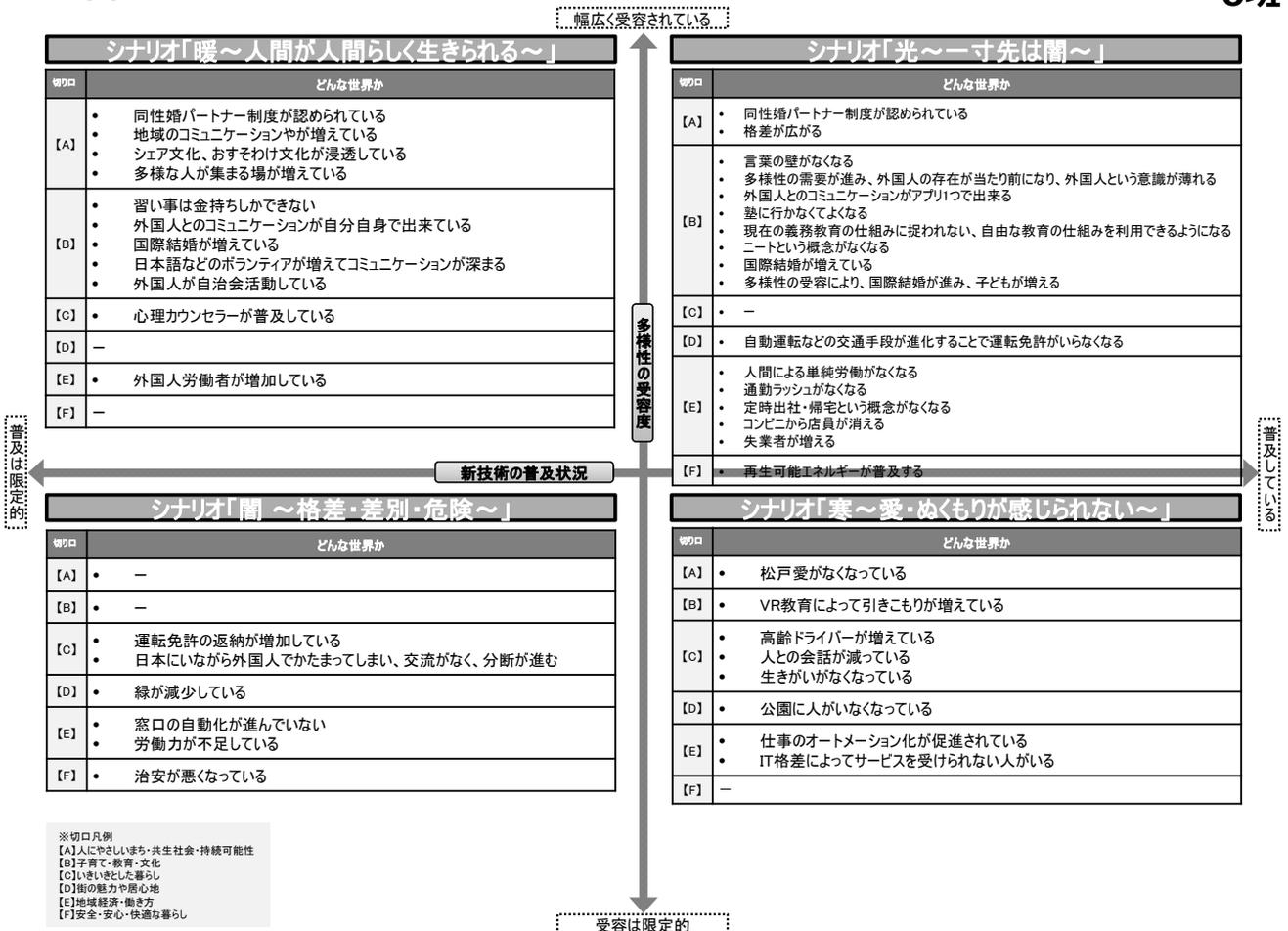
ワーク(4) : ベースシナリオを元にした戦略オプション検討

6班

| 切り口 | 取り組み |
|------------------------|---|
| 【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 住民個人ごとの行動データやニーズに関するデータを収集し、AIロボットにより、個々の細やかなニーズに応えられる仕組みを導入 |
| 【B】子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> 日本語学校と市が連携して、ホームステイや体験などを企画する |
| 【C】いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 住民が活用できるすべての市民サービスをワンストップで対応する窓口の新設 特別養護老人ホームなどの施設の整備 |
| 【D】街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> 新駅をつくる 空き家を街の景観に合った住まいに変える 空き家をシェアハウスにして、若い人や世界からのアーティストに住んでもらう街を作る 新たな公園の整備 |
| 【E】地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもを職場に連れていけるような仕組みを作る VRを活用し、どこの人とでも仮想空間でつながるシェアオフィスの新設 歩き通勤者を採用した企業への補助金制度を作る 通勤専用の自動運転タクシーサービスの導入 |
| 【F】安全・安心・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 空き家への入居で犯罪を防ぐ 個人のプライバシーを尊重し、街の防犯カメラによる撮影可否を個人で選べるようにする(たとえば、撮影拒否を選択する場合は、プライバシーは保護されるが、安全性は担保されない) ごみ焼却施設の整備 |

ワーク(5) : 複数シナリオの内容の再確認

6班



複数シナリオ分析：シナリオ「光 ～一寸先は闇～」

6班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|----------------------------|---|--|---|--|
| 【A】 人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 支所のサービスが拡大する 行政の圏域化を進めやすくなる 外国人との共生が円滑になる | <ul style="list-style-type: none"> プライバシーが守りにくくなる | <ul style="list-style-type: none"> プライバシーは守りたい 外国人と安心して交流したい | <ul style="list-style-type: none"> 日本人と外国人とのマッチング事業 |
| 【B】 子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> 新たな教育制度を提供できる可能性がある | <ul style="list-style-type: none"> 技術の進展により、対面以外でのコミュニケーション手段が発達することで、子どもが外出しなくなる | <ul style="list-style-type: none"> 子どもの多い街になってほしい | |
| 【C】 いきいきとした暮らし | | | | |
| 【D】 街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> 自動運転によって事故が減る 世界から人が移住し人口が増加する | <ul style="list-style-type: none"> 通勤という概念がなくなり、東京に近い松戸市の魅力がなくなる | <ul style="list-style-type: none"> 移動に時間をかけたくない | |
| 【E】 地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 障がいを持っている人でも働くチャンスができる 職業の幅や働き方の選択肢が広がる よりニッチな産業が産まれる | <ul style="list-style-type: none"> 単純労働していた人が職を失う | <ul style="list-style-type: none"> 駅前に新たな百貨店ができてほしい | <ul style="list-style-type: none"> 商業施設の誘致 |
| 【F】 安全・安心・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 化石エネルギーの減少 ごみ処理の分別化、ロボット化 | <ul style="list-style-type: none"> 新しい犯罪が出てくる | <ul style="list-style-type: none"> 災害に強い街になってほしい 犯罪の少ない街になってほしい | <ul style="list-style-type: none"> 地域パトロールに取り組む サイバーポリスの育成 避難所や避難ルートの周知 幼少期から防災教育の実施 |

複数シナリオ分析：シナリオ「寒 ～愛・ぬくもりを感じられない～」

6班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|----------------------------|--|---|--|--|
| 【A】 人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> プライバシーが高く保たれる | <ul style="list-style-type: none"> ITを活用した公共サービスを受けられない人が発生する | <ul style="list-style-type: none"> 人と関わらずに良いサービスを受けたい 高齢者でも使用可能なITサービスにしてほしい | <ul style="list-style-type: none"> AIによる音声ガイドサービス |
| 【B】 子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> ネットスクール系のビジネスが普及する可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもが外出しなくなる | <ul style="list-style-type: none"> 新技術の使い方が分からない人に、技術を教えてほしい | <ul style="list-style-type: none"> ネットスクール系ビジネスの誘致 |
| 【C】 いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 障がいを持っている方や今までサポートが必要だった方が自分で生活できる | <ul style="list-style-type: none"> 技術から取り残された人が困る 技術についていけない人と、ついていけない人で二分化される 松戸愛がなくなり、定住者が減る | <ul style="list-style-type: none"> 同じ趣味を持つ人と気軽につながりたい SNSなどで自分の世界を広げたい | <ul style="list-style-type: none"> AIを活用した趣味マッチング |
| 【D】 街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> 人がいなくなった公園を利用してイベントをひらくチャンス | <ul style="list-style-type: none"> 自動運転と手動運転が混在し、交通が混乱する | <ul style="list-style-type: none"> 人との関わりと地元への愛情は持っていたい | |
| 【E】 地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 技術の進化により、高齢者でも体力の必要な仕事ができる | <ul style="list-style-type: none"> 外出が減り、市内の経済が停滞する | <ul style="list-style-type: none"> 松戸市外から観光客を呼び込みたい 活気あふれる街になってほしい | <ul style="list-style-type: none"> コスプレイベント等、魅力的なイベントを企画し、発信する SNS等で松戸市の魅力を海外に発信 |
| 【F】 安全・安心・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 安全な街づくりをして、定住を促進する | <ul style="list-style-type: none"> 人との関わりがなくなり、犯罪の抑止力が下がる | <ul style="list-style-type: none"> 安心して暮らしたい | <ul style="list-style-type: none"> 市がAIドローンによるパトロール |

複数シナリオ分析：シナリオ「暖～人間が人間らしく生きられる～」

6班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|----------------------------|---|--|---|---|
| 【A】 人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 人との関わりが増えることで、人口が増えるチャンス 職種によっては外国人職員を採用可能 | | <ul style="list-style-type: none"> 外国の方ともコミュニケーションを取りやすい街になってほしい | <ul style="list-style-type: none"> 外国人タウンの創設 |
| 【B】 子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> 国際結婚が増えて子どもが増える | <ul style="list-style-type: none"> 外国人の増加により、役所の業務が煩雑になる | <ul style="list-style-type: none"> 日本語が出来なくても子育てしやすい街にしてほしい 外国人と意識せずにコミュニケーションをとりたい | <ul style="list-style-type: none"> 多言語を話せる保育士の育成 リアルタイム翻訳機の導入 |
| 【C】 いきいきとした暮らし | | <ul style="list-style-type: none"> 日本独自の文化が減っていく可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 色々な人種の人にとって住みやすい街になってほしい 人間味溢れたコミュニケーションをとれる、愛する松戸市であってほしい | <ul style="list-style-type: none"> ホームステイ等、外国の方を受け入れについての情報を包括的に発信する |
| 【D】 街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> 近隣トラブルの減少 | <ul style="list-style-type: none"> ひきこもりの増加 | <ul style="list-style-type: none"> 誰もが生きやすい環境があってほしい | <ul style="list-style-type: none"> 誰もが気軽に使える心理カウンセリング制度の導入 |
| 【E】 地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 外国人等により、新たな購買層の流入による経済活性化 | <ul style="list-style-type: none"> 外国人労働者増加により、失業者が増える 結婚が増え、出生率が増加することで女性の就業が減る | <ul style="list-style-type: none"> 子どもがいても働きやすい街になってほしい | |
| 【F】 安全・安心・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 人との関わりが増え、犯罪の抑止力向上につながる | <ul style="list-style-type: none"> 今までなかった詐欺が増える可能性がある | <ul style="list-style-type: none"> 安全な街になってほしい | <ul style="list-style-type: none"> 住民同士の見守り制度 |

複数シナリオ分析：シナリオ「闇～格差・差別・危険～」

6班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|----------------------------|--|---|--|---|
| 【A】 人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | | | | |
| 【B】 子育て・教育・文化 | | | | |
| 【C】 いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 変化を嫌う高齢者が住みやすくなる 同じ趣向を持つ住民による市民活動が増える | <ul style="list-style-type: none"> 異文化同士の分断が進み、新規住民が入りづらくなる | <ul style="list-style-type: none"> 誰にとっても住みやすい街になってほしい | <ul style="list-style-type: none"> 住民の分断要因を緩和させる交流イベントの開催 |
| 【D】 街の魅力や居心地 | | | <ul style="list-style-type: none"> 緑の多い街のままでいてほしい | |
| 【E】 地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 単身向けビジネスが発展する 技術についていけない人と、ついていけない人のギャップを埋める産業が進む | <ul style="list-style-type: none"> 職業等の違いにより格差が広がるようになる | | |
| 【F】 安全・安心・快適な暮らし | | <ul style="list-style-type: none"> 治安が悪くなる ゴミの処理が追い付かなくなる | <ul style="list-style-type: none"> 綺麗で衛生的な街になってほしい 安全な街になってほしい | <ul style="list-style-type: none"> クリーンセンターの整備 ゴミを出さない教育の実施 |

ワーク(2) : ベースシナリオの松戸市への影響

7班

| | チャンス | リスク |
|------------------------|--|---|
| 【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 家賃が安くて都心が近いので外国人が住みやすいことをアピールすることで、都内へ働く外国人労働者を呼び込める 外国人が子育てしやすしたり正社員になれるようにしたり、受け入れの仕組みを作っ てまちづくりの基礎にできる 元気な高齢者が働き続けることで税収が増加し、保障費が減る | <ul style="list-style-type: none"> 老朽化したインフラの更新が必要になり行財政運営を圧迫する 外国人が増えてトラブルが増える |
| 【B】子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> テレワークの環境が整いやすいので、子育てやダブルケアと仕事との両立がしやすい 農業が盛んなので食育に活かせる グローバルな生活環境で視野が世界に向く 待機児童ゼロを魅力に感じて子育て世代が流入するので、教育水準を保てる | <ul style="list-style-type: none"> 貧富による教育格差が少なからず生じる |

ワーク(2) : ベースシナリオの松戸市への影響

7班

| | チャンス | リスク |
|---------------|--|--|
| 【C】いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 地域の町医者と連携しつつ大病院を活用して高齢者をケアできる 医療水準が高いので、元気な高齢者が多い 介護施設が増加する 労働力不足の対応として高齢者と外国人が接客する街になる 都心部に近いので、ある程度若者を確保できる 南関東に位置するため全国に比べて人口減少は少ない 人口が減らないので、医療の水準は確保される 高齢者向け健康サービスがもっと増える 高齢化は問題ではない | <ul style="list-style-type: none"> 社会保障費が増大することで、個人の可処分所得が減少する 都心や近隣自治体からの流入で各公共サービスの対応能力が追いつかない 墓が足りなくなる |

ワーク(2) : ベースシナリオの松戸市への影響

7班

| | チャンス | リスク |
|-----------------|--|---|
| 【D】街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> コンパクトシティの実現の可能が高まる 人口が減って空き地が増えるに伴い、緑や遊び場が増える 休耕農地を高齢者等に貸すことで生きがい生まれる バリアフリー整備が進む | <ul style="list-style-type: none"> インフラが老朽化する 空き家がそのままになると街のイメージが悪くなる |
| 【E】地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 空き家を活用してテレワークやサテライトオフィスにできる 外国人に空き家を提供することで外国人居住者が増え、労働力を確保できる データセンターが置かれる北総台地の印西に近い | <ul style="list-style-type: none"> 工場がオートメーション化やAI化して雇用が減る 農地や農家の減少 商店街の店が閉店し、空き店舗が増える 事業の後継者が不足する 技術進化により、これまでの仕事が技術に置き換わることで職を失う人がある |
| 【F】安全・安心・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 防犯カメラなどの技術進歩で犯罪が減る | <ul style="list-style-type: none"> 技術が進歩することでサイバー犯罪が増加する 防犯カメラなどの技術の普及によりプライバシーが失われる 外国人、高齢者、障害者など、災害への対応を多様化する必要性生まれる |

ワーク(3) : ベースシナリオを元にしたニーズの検討

7班

| 切り口 | ニーズ |
|------------------------|--|
| 【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 外国人との相互理解 外国人が住みやすいよう、外言語化やさまざまなサポート 外国人との文化的交流、隣近所的な関係づくり 外国人が孤立せず溶け込んでいる地域社会 高齢者がいきいき過ごせる環境の維持 緑が残されている環境 松戸の強みのアピール |
| 【B】子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> 子育てをしやすいまちの維持 緑や自然の中での子育て環境 外国語教育の充実 |
| 【C】いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 在宅医療サービス 元気な高齢者が多いので高齢者が活躍できる場 介護施設の整備 老後の余暇趣味を楽しむための市民農園などの場 社会的弱者やLGBTQなどマイノリティへの理解 |
| 【D】街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者や子育て世帯向け等にあわせた住まい コンパクトシティ、都市機能の集約など、移動が少なく近くになんでもある状態 広く整備された歩道などのバリアフリー化 空き家の活用 |

ワーク(3) : ベースシナリオを元にしたニーズの検討

7班

| 切り口 | ニーズ |
|-----------------|---|
| 【E】地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> • 空き家の経済的活用 • 松戸の農産物のPR • 職場には大事なときだけ来て、簡単なものは在宅ワークなど、テレワークが可能な職場 • 元気な高齢者の働ける場所 |
| 【F】安心・安全・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> • 自転車専用車線 • 外国人向け避難の案内や高齢者の早期避難など、災害対応の整備 • 最新技術を用いた防犯を早く導入することで防犯のイメージアップ |

ワーク(4) : ベースシナリオを元にした戦略オプション検討

7班

| 切り口 | 取り組み |
|------------------------|---|
| 【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> • インフラの計画的な予防修繕と更新を行う • 市民センターなどの公共施設を維持する • 外国語での標識など公共施設、交通機関等の多言語化を進める • 中高生に外国人との交流の場(イベントなど)を提供する • 外国人のための日本語講座やマナーなどのイベントを行う • 外国人に対応した計画づくりをする • 外国人と文化的な交流をするために交流員やファシリテーターを育成する |
| 【B】子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> • テレワークを企業が導入しやすいように支援する • ダブルワーク、子育てや介護をしつつ働きやすい環境づくり、働き方改革を支援する • 待機児童ゼロのために保育所、保育士を増やす |
| 【C】いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> • 世代を越えたつながりを作るサークルやグループを作る支援をする • コンビニ、ショッピングセンターなど、高齢者を雇用できる場所を増やす取り組みをする • いつまでも働けるように健康寿命をより延ばす取り組みをする • 介護サービスや施設を整備する • ワークシェアを推進して、高齢者にも労働の機会を提供するとともに、現役世代にも時間的余裕を持たせる • 職員や市民を対象に、社会的弱者やLGBTQなどマイノリティへの理解を深めるイベントや研修をする |

ワーク(4) : ベースシナリオを元にした戦略オプション検討

7班

| 切り口 | 取り組み |
|-----------------|--|
| 【D】街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> 空き家や効果的な売上が見込めるよう空き家活用の支援をする コンパクトシティ化を推進する さまざまなスタイルに対応できる住居を作る 松戸の強みを検討し、市のPRを進める 無駄な開発をしない まちづくりの予算を充実し、広い歩道、バリアフリー化、自転車専用レーンなどを整備する 公園などの緑を保全し、開発とのバランスを取る |
| 【E】地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 空き家や空き店舗とニーズのマッチングの仕組みを作る 多様な働き方を促進するため、事業者への補助や企業誘致をする 農産物のブランド化のため、広報活動やイベント等を開催する 介護施設新規設置者への補助制度を検討する 中小企業をはじめとする事業者の最新技術の導入に補助をする 業務を整理し、分担を検討することで在宅ワークを推進する ワークシェアなどの新しい仕組みを使ってみんなで一斉に仕事量を減らす |
| 【F】安全・安心・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 自治会や住民による見回りをする 最新の技術を用いた防犯システムを導入する 災害対応計画、物資、備品などを外国人や高齢者対応にする 外国人向けに的確に案内ができるなどの避難所運営ができるようにする 外国人や高齢者に防災啓発・防災訓練を行う |

ワーク(5) : 複数シナリオの内容の再確認

7班



複数シナリオ分析：シナリオ「日々是財宝」

7班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|----------------------------|---|--|--|--|
| 【A】 人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 誰もが自分らしくいきいき暮らしやすい 電車や車の混雑が減る 国際化して外国人が多い ICTが発展して、外国人や外国人の子ども、障害者が生活しやすくなる 国際交流が盛んになる | <ul style="list-style-type: none"> 個人の所得が減り、税収も減るため、行政運営が維持できなくなる 多様化により既存システムに大改修が必要になる 多様性をベースに本人は困っていないが、貧富の差が生まれる すべての人の多様性を認めるためにお金がかかる | <ul style="list-style-type: none"> 多様化する社会で旧来の価値にこだわる人のために、家もしくは地域ですべてが完結する環境、もしくはそうした人たちも自然に寛容になれるようなまちづくり 多様性を配慮した標識の整備などのバリアフリー化や専門職の配置 | <ul style="list-style-type: none"> 多様性を受け入れられるような啓発活動をする |
| 【B】 子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> 新技術の普及により余暇が増え、子育てをする余裕もできるので少子化に歯止めがかかる 時間と人に余裕ができて子育てしやすい環境になる | | <ul style="list-style-type: none"> 子どもの頃から多様性を意識した教育や生活 充実した道徳教育 多様性受容がゆえに専門技術を修練する場 多言語への対応と多文化への理解を進める教育 | <ul style="list-style-type: none"> 多様性・多文化教育のためのプログラムを実施する |
| 【C】 いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 健康寿命が伸び元気な高齢者が働けるようになる 単純作業は機械化され、それ以外の、人しかできない仕事にやりがいや生きがいを感じられる | <ul style="list-style-type: none"> 店舗、各種受付などの業務が、技術によって自動化されることで人がいらなくなる | <ul style="list-style-type: none"> アナログを好む人や多様性を好まない人でも過ごしやすい仕組みがほしい 自分らしい生き方(今までの生き方を変えたくないというニーズも含む) | <ul style="list-style-type: none"> ひとりひとりの自分らしい生き方を支援する |
| 【D】 街の魅力や居心地 | | | <ul style="list-style-type: none"> 増えた空き家を活用するための革新的なマッチング技術 | <ul style="list-style-type: none"> マッチングの仕組みを作る |
| 【E】 地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 新技術による効率化が図られ、市職員が減って人件費が減る サテライトオフィスなど働き先が埼玉・茨城・福島などに分散し、東京だけのベッドタウンではなくなる 働き方が多様化して週休3日、4日という制度ができる コンテンツ産業の成長が加速し、関連ビジネスの起業が増える 働き手がたくさんいる 新技術が進み業務効率があがる | <ul style="list-style-type: none"> 街機能の維持にコストがかかる 多様性への配慮で業務が増える 既存の仕事が継続できなくなる | <ul style="list-style-type: none"> コンパクトなまちづくり 働きやすさの差を埋める技術や仕組み | <ul style="list-style-type: none"> 実験的に週休3日を行う 行政で、実験的に在宅ワークを認める AIにやってもらう仕事を見直す 新技術や仕組みに対する補助金を出す いろんな人が雇用されやすい環境を作る |

複数シナリオ分析：シナリオ「日々是財宝」

7班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|---------------------|---|--|-----|------|
| 【F】 安全・安心・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 災害に強い街になり、助け合いもあり、災害があっても被害が少なくなる | <ul style="list-style-type: none"> 監視社会で生きづらい | | |

複数シナリオ分析：シナリオ「百年の孤独」

7班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|----------------------------|---|---|---|--|
| 【A】 人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 多様性を受け入れづらい社会の中で、あえて受け入れて差別化できる | <ul style="list-style-type: none"> 行政・サービスへ求める水準が高くなる 日々の不満がネットにあふれる すでにいる外国人とのあつれきが生じる 多様性を受け入れる街にしても、なおも多様化に適応できず住みたくないという人が現れる 外国人は増えているが受け入れられていない | <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの場所 外国人やLGBTQの集いの場 多様性を受け入れる社会 同じ考え、境遇の人達が繋がる機会 高齢者や支援が必要な人たちが自分らしく生きられる環境 | <ul style="list-style-type: none"> 強い自立心を持って、孤独でも生きていける力を身につける 空き家や空き店舗を把握して、活用法を共有する 多様性を受容する交流の機会づくり 行政職員が率先して多様性を学ぶ |
| 【B】 子育て・教育・文化 | | | <ul style="list-style-type: none"> 誰でもどこでも使える通訳 ネット上のモラルやリテラシーの教育 AI社会に向けた教育 高齢者やひきこもりの話し相手や、資産運用支援をするAI家族 日本人向け、外国人向けの外国語教育 | <ul style="list-style-type: none"> 交流が減って消えていく文化を残す支援をする AI社会や新技術の使い方やリスクについて教育を行う 外国人向けの教育機会を提供する |
| 【C】 いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 元気な高齢者が増えている | <ul style="list-style-type: none"> 引きこもりの人が増える 生活に格差が生じてコミュニケーションがとれなくなる | <ul style="list-style-type: none"> 宅配、仕事、行政サービスなど、家で何でもできる環境 高齢者でも働ける環境 新技術の享受 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者や支援が必要な人が働ける場のさらなる充実を図る |
| 【D】 街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> 人口が集中し、働き方が多様でなくても立地でなんとかぎりぎりやっつけていける | <ul style="list-style-type: none"> 東京とさほど変わらず中途半端 | <ul style="list-style-type: none"> 便利な技術であらゆる人を満足させる街の機能 | <ul style="list-style-type: none"> 公共施設等で新技術を使える環境整備を行う |
| 【E】 地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 仕事が効率化する 時間の使い方が効率的になる 市役所が率先して働き方改革を行い、市内企業にも促している | <ul style="list-style-type: none"> 都心に近いという地の利はなくなり土地が安くなる AIで足りて、働きたくても働けない高齢者が増え、受け入れてもらえない 人手が足りず、新技術を利用する必要が出てくる。コストがかかり差が出る 単純労働に就きづらくなる | <ul style="list-style-type: none"> 多様性の受容や理解を促進させるサポートビジネス | <ul style="list-style-type: none"> 事業者が新技術を使えるように支援する |

複数シナリオ分析：シナリオ「百年の孤独」

7班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|---------------------|------|---|-----|--|
| 【F】 安全・安心・快適な暮らし | | <ul style="list-style-type: none"> 技術に依存し、便利になることで災害時に困る 隣近所のつながりが希薄化する | | <ul style="list-style-type: none"> 災害時の発電機を用意する |

複数シナリオ分析：シナリオ「明るい農村」

7班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|----------------------------|--|---|---|--|
| 【A】 人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | | <ul style="list-style-type: none"> 職場や地域で人々の関係が緊密になる一方、放っておいてほしいのに放っておいてくれないので、落ち着きたい人が落ち着けない | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者や外国人など、多様な人が集まる場や、一緒に働く環境を整備することによる意識の醸成 | <ul style="list-style-type: none"> 空き家を活用して高齢者や外国人など、多様な人たちが集まれる場を用意する |
| 【B】 子育て・教育・文化 | | <ul style="list-style-type: none"> 非効率な働き方なので、共働きをしないと生活できず、少子化が進む | <ul style="list-style-type: none"> 多様化に伴うルールが必要 グローバル教育 大人への英語教育 | <ul style="list-style-type: none"> 大人も子どもも英語の勉強をする 多様化へのルールづくりをする |
| 【C】 いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 外国人発で高齢者向けビジネスへの参入が生まれる 元気で働きたい高齢者の働き口がある 子どもが生活の中で自然にグローバル化する | <ul style="list-style-type: none"> 地域や国籍など、属性ごとにかたまってしまう、他者と交流しない | <ul style="list-style-type: none"> 外国人が地域に溶け込むまでの過渡期の橋渡し | <ul style="list-style-type: none"> 多様性についてアンケートを実施する 今すでにある松戸市内の多様性の課題を洗い出して対応する 未来の松戸が直面する多様性における課題を予測する 交流場所や交流機会を作る |
| 【D】 街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> 都心の近さを活かせる 多少不便でも時代に流されず、伝統、産業、考え方など、昔ながらの松戸らしさが受け継がれる 高齢者と外国人の交流で認知症が減る 空き地、空き家の活用ができる | <ul style="list-style-type: none"> 都心から40km圏の再興で住宅の激戦が起こる | <ul style="list-style-type: none"> 新技術に頼らない手法による利便性の向上 | <ul style="list-style-type: none"> 多様性に対応した松戸のCMを流すことで、松戸への人の流入を図る |
| 【E】 地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> NPO等のサポートもあり、技術普及のための新サービスなどソフト産業が活況になる 様々な考え方や文化が共存するので、様々な業種の仕事が生きる | <ul style="list-style-type: none"> 生産性が低く経済が衰退する 金がかかるのに効率が悪 ICTを使える人とそうでない人の格差が生まれる | <ul style="list-style-type: none"> 様々な求人があるので、企業と人をつなげる必要がある | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者や外国人が働く場を提供する |
| 【F】 安全・安心・快適な暮らし | | <ul style="list-style-type: none"> 新技術に頼らないインフラ改善が必要になる 格差やコミュニケーション不足により犯罪が増加する | | <ul style="list-style-type: none"> 計画的なインフラ整備を進める |

複数シナリオ分析：シナリオ「佐藤 黒」

7班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|----------------------------|--|--|--|---|
| 【A】 人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> あまり今と変わらない状況に良さを感じる人がいる 市と市民の意識次第で、松戸がひとり勝ちに踏み込めるかも | <ul style="list-style-type: none"> 助け合いがない | <ul style="list-style-type: none"> みんなで方向性を考える | <ul style="list-style-type: none"> 松戸は技術特区、新松戸は多様性特区にして実験をする 今回のようなワークショップ(考える場)を土日にやる 選挙や政策形成の場への参加を呼びかける |
| 【B】 子育て・教育・文化 | | <ul style="list-style-type: none"> 教育の機会の差が生まれる | <ul style="list-style-type: none"> 教育格差の解消 子供が夢を持てるような環境 | <ul style="list-style-type: none"> 教育の将来像を描くため、みんなにどうなりたいかアンケートを取る 夢を持てるよう子供と未来を語る 大人が未来について考え、語り合う機会を設ける 将来の不安に対して、大丈夫なんだよ、と大人が子供に話してあげる(体験談、他の国の話、歴史のこと)場の提供をする |
| 【C】 いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> これまでとは大きくは変わっていないがゆえに、今後のさまざまな発展の可能性があるため夢を持つ | <ul style="list-style-type: none"> 多様性が受け入れられていないので、高齢者の働き口が少ない | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の働き口などの居場所 ひとりひとりが人生の楽しみをそれぞれ持てる環境 | |
| 【D】 街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> 医療や立地など、すでに優れている点が評価され続ける 昔から続いている松戸の文化や歴史が大切にされる | | | |
| 【E】 地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 都心アクセスを生かして外国人旅行者を誘致する すでに松戸で働いている外国人にゆかりのある外国人が松戸で働く | <ul style="list-style-type: none"> 日本社会全体に引張られて廃れていく 外国人、高齢者の働ける場所が限定的 | <ul style="list-style-type: none"> 多様な働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 多様な働き方を支援する 事業者への雇用の働きかけやマッチングを行う |
| 【F】 安全・安心・快適な暮らし | | <ul style="list-style-type: none"> 災害時に援助が進まないため、弱者が困る 犯罪が増える | <ul style="list-style-type: none"> 防犯対策 災害時の避難支援 | <ul style="list-style-type: none"> 災害時に医師等の専門職を置いて専門診療・診断をしやすくする 共助の仕組み作りを支援する |

ワーク(2) : ベースシナリオの松戸市への影響

8班

| | チャンス | リスク |
|------------------------|---|--|
| 【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 健康寿命が延伸する 外国人にとって住みやすいコミュニティを作れば外国人が増加する 国際交流によって多様性が高い魅力が生まれる 外国人が増えて国際交流が盛んになる 国際交流でお互いの理解が深まる 外国人タウンができ、外国人が住みやすい環境が整う 新市庁舎の建設で縦割りな組織が市民サービスのワンストップ窓口などで変化する 自治コミュニティの再生の可能性が生まれる インフラが老朽化して不要な公共インフラを手放すチャンスになる | <ul style="list-style-type: none"> 高齢化が進み市民の税負担が増える 外国人労働者が増えてコミュニティが分断される 外国人増で治安が悪くなるのではないかと心配 多文化社会で生活の違いから住民の衝突が増える 習慣の違いで文化的背景の異なる人に住宅が貸せない事案が生まれる |
| 【B】子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> 先生1人に対して子どもの数が減るので、子どもひとり当たりの学習が充実して質が向上する 外国の文化に触れて興味を持てる 教務データのICT化が進むことで見えにくい課題がみえるようになる | <ul style="list-style-type: none"> 外国人の親が増えて周りとのコミュニケーションが取りにくい |

ワーク(2) : ベースシナリオの松戸市への影響

8班

| | チャンス | リスク |
|---------------|--|---|
| 【C】いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> お年寄りが楽しめるものが生まれて住みやすい街になる 子どもの世話を焼く人材が多くなる 介護施設が増えてビジネスチャンスが広がる ヘルスケア分野でウェアラブル端末などIT機器を活用した健康管理が進む 病院が多い医療都市 高齢化対応によってユニバーサルデザインが進む 元気な高齢者に働いてもらえる仕組みやまちづくり 高齢者向け健康サービスが増える 健康医療都市まつど 高齢化による介護職の需要増 多文化共生が拡がり障がい者への理解が広がる 大病院が多いので今後も充実した小児医療が受けられる | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者向け施設に入りにくくなって貧富の格差が広がる 高齢者の単独世帯が増える 外国人が高齢化する 多文化共生の一方で文化の違いによる生活習慣の変化を迫られる |

ワーク(2) : ベースシナリオの松戸市への影響

8班

| | チャンス | リスク |
|-----------------|---|---|
| 【D】街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢化対応で街中のバリアフリー化が進む 図書館、公園など公共の施設をおしゃれに居心地良くと、話題になり人が集まり魅力的に 都心に近い ユニバーサルデザインで住みやすくなる 外国人から魅力が発信される | <ul style="list-style-type: none"> 空き家が増える 自動運転を進めるには道路の整備等で他市より遅れをとりそう |
| 【E】地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> テレワークなど働き方が変わる 個人や小規模なクリエイターが支援されるようになる 高齢者が活躍する 外国人が増えて多様な店や企業が増える 遊休農地の活用が進む | <ul style="list-style-type: none"> 共働きが増えて地域にお金が落ちない 保育所が不足して女性の社会進出が進まない |
| 【F】安全・安心・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 再生エネルギー利用の増加 | <ul style="list-style-type: none"> 外国人増加に伴う治安の悪化、高齢者増加に伴う高齢者をターゲットとした犯罪の増加 |

ワーク(3) : ベースシナリオを元にしたニーズの検討

8班

| 切り口 | ニーズ |
|------------------------|---|
| 【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 今ある老朽化したものを直すだけでなく魅力的なものに作り変える。図書館、健康公園、じゃぶじゃぶ池、ちびっこ遊具の公園 外国人との共生 料理などを通じた外国人との文化交流 障がい者・高齢者施設を増設する 他言語対応など外国人市民が住みやすくなる街づくりをする 市民活動が多いだけでなく、分野を超えたマッチングが進んでいるのでさらに進める ボランティア支援の多様化をするための企業やクラウドファンディングによる支援 多文化交流の場を設ける |
| 【B】子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> 教育・イベントを通じた市内の外国人と友だちになれるきっかけづくり 公園施設のリノベーション 少子化に伴った教育の充実 IT教育の拡充 |
| 【C】いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 街中のバリアフリー対応をする 日本語が不自由な外国人でも通訳サービスなどを利用して安心して医療を受けたい 救急車のスムーズな受入れ |
| 【D】街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> 外国人にまちを好きになってもらう取り組み クリエイティブな人材を育てる街 公園・図書館のリノベーションをする コミュニティバスを増やす みどりを保全して欲しい 空き家の処理(活用or処分)をする |

ワーク(3) : ベースシナリオを元にしたニーズの検討

8班

| 切り口 | ニーズ |
|-----------------|---|
| 【E】地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 介護職の賃金アップや地位向上で若手人材を確保する クリエイティブシティ！クリエイティブな人たちが集まる街になるような支援 魅力的な仕事、働く場が欲しい 起業への支援が欲しい |
| 【F】安心・安全・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 「環境推進都市まつど」として再生エネルギーの推進 安全・安心な街への施策 子どもの安全を確保する 高齢者・障害者への医療支援体制を強化する |

ワーク(4) : ベースシナリオを元にした戦略オプション検討

8班

| 切り口 | 取り組み |
|------------------------|--|
| 【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 松戸市地域SNSを作り、松戸市が公式にお知らせを広報し、市民の困りごとや質問などに直接回答する ポケットークを市民に配り外国人と共生する 外国人が日本の生活・文化を学ぶ機会を拡充する |
| 【B】子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> プログラミングを教育し、プログラミングできる環境をつくる 成績等の教育に関するデータのビッグデータ化をする 子育て家庭とお手伝いしたい人とのマッチングアプリを作る |
| 【C】いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 多文化交流の場をつくる 市民サービスのワンストップ窓口の創設 介護職が安心して働ける環境づくり |
| 【D】街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> プログラミングカフェを作り、世代を超えてプログラミングを通じたコミュニティを作る 老朽化した施設の用途やリノベーションなど、市民のニーズを調査する 公共施設リノベーションにむけた検討をする 空き家の活用(or処分)をする コミュニティバスを拡充する 街中のバリアフリー化を進める |
| 【E】地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 地域クラウドファンディングを立ち上げる 起業したい人への支援等を拡充する 遊休農地の有効活用をする |
| 【F】安全・安心・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電などの身近な再生エネルギーを使うよう普及促進をする |



複数シナリオ分析 : シナリオ「グローバル&ワールドワイド松戸 あこがれのマチ」 8班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|-----------------------------------|---|--|---|--|
| 【A】 人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 協働により行政コストが減る | <ul style="list-style-type: none"> コミュニティが発展してプライバシーが守りにくくなる | | <ul style="list-style-type: none"> 公民館ではない、コミュニティのためのカフェ・サロン |
| 【B】 子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> タブレット端末等、教育に関連する技術が発展し、重たい教科書を持ち歩かなくてよくなる 教育ビッグデータが蓄積され適正に管理・活用されるようになる 教育のデジタル化によるペーパーレス | <ul style="list-style-type: none"> 教育関係の情報漏洩のリスクが高まる 先生へのICT教育が課題になる | <ul style="list-style-type: none"> 先生のICT教育 学校にいかず家で勉強できる | <ul style="list-style-type: none"> 保育士手当をパートにも拡充 公園に乳幼児向けの遊具を拡充 みんなが集まる図書館にリノベーション IT教育支援 |
| 【C】 いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 医療技術の進歩により長寿命化が進む | <ul style="list-style-type: none"> テレワークの普及により、外に出なくなりコミュニケーションが減る | <ul style="list-style-type: none"> 多様な生き方を支える生き方サポート | <ul style="list-style-type: none"> 生き方サポート拡充 |
| 【D】 街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> 都市が整備され、公園・カフェが増える | <ul style="list-style-type: none"> テレワークが普及し、「都心に近い」が松戸の強みでなくなる | <ul style="list-style-type: none"> 松戸の魅力を外へ発信 | <ul style="list-style-type: none"> 「市民活動が盛ん」「子育て環境」などの松戸の独自性のアピール 松戸市の広報の拡充 「クリエイティブシティ」などのキャッチフレーズ |
| 【E】 地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 移動しなくてもできる仕事が増え、移動コストが減る よりニッチな産業が生まれる | <ul style="list-style-type: none"> テレワークの推進によりベッドタウンとしての魅力がなくなり、人が集まらなくなる | <ul style="list-style-type: none"> 障がい者、外国人、高齢者の就職支援 | <ul style="list-style-type: none"> ベッドタウンではなく、住みやすさ以外の魅力を備えたまちづくり 松戸駅前の開発 |
| 【F】 安全・安心・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 地域の防災が進み、災害時はコミュニティでの対応が増える | <ul style="list-style-type: none"> 災害時情報の選択肢が多すぎて面倒になる 新しい犯罪が生まれる 外国人の増加により、ごみの処理問題が大きくなる | <ul style="list-style-type: none"> 災害弱者への支援 | <ul style="list-style-type: none"> みんなで話す、情報共有する防犯ハザードマップ |

複数シナリオ分析：シナリオ「松戸 ココロの空洞化」

8班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組み |
|----------------------------|---|--|--|---|
| 【A】 人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | | <ul style="list-style-type: none"> 既存の仕事がITに代替され、仕事のない人が増える 助け合いがなくなるため社会保障コストが増える 技術についていける人とついていけない人との分断が起こる SNSで好きな人同士がつながり、分断する | <ul style="list-style-type: none"> 単身高齢者の見守りシステム | <ul style="list-style-type: none"> コミュニティのためのカフェ・サロン |
| 【B】 子育て・教育・文化 | | | <ul style="list-style-type: none"> 大人向けIT教育 ファミリーサポートの充実 | <ul style="list-style-type: none"> 大人向けIT教育 子育て環境の充実 |
| 【C】 いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者ドライバーが増え高齢者が自分で移動できる 好きな人同士のやりとりが増え、ハイコンテキストなコミュニケーションで済むので疲れない | <ul style="list-style-type: none"> ITに代替され、仕事のない人が増える 助け合いがなくなるため社会保障コストが増える 技術についていける人とついていけない人との分断が起こる 孤独死が増加する | | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者が生活しやすい環境の充実 市民活動をつなげる |
| 【D】 街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> 自動運転が進む | <ul style="list-style-type: none"> 仮想現実で生きる人が増え、地元愛が薄れ、どこに住んでも一緒になる | <ul style="list-style-type: none"> 松戸らしさの提示 | <ul style="list-style-type: none"> わかりやすいキャッチフレーズを創る 街の魅力の掘り起こし |
| 【E】 地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 専門性が高まる(深く狭く) 高齢者でも仕事ができる | <ul style="list-style-type: none"> 仕事のない人が増える ベッドタウンとしての価値が低くなる 異分野同士の交流がなく、イノベーションが起きにくくなる タクシー産業が衰退する IT化により、労働人口の減少が進む 公園に人がいなくなる | <ul style="list-style-type: none"> 就業支援 | <ul style="list-style-type: none"> 就労支援 |
| 【F】 安全・安心・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> プライバシー性が高く保たれる GPSなどの技術の進歩により認知症の人を探しやすくなる | <ul style="list-style-type: none"> 地域のコミュニティが希薄になり、災害時のリスクが高まる | <ul style="list-style-type: none"> 単身高齢者の見守りシステム | <ul style="list-style-type: none"> 災害時要配慮者の把握・支援の拡充 |

複数シナリオ分析：シナリオ「ハートフルシティ 松戸」

8班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組みの検討 |
|----------------------------|---|--|--|---|
| 【A】 人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 多様性が受容されることにより、多様な人を取り持つコーディネーターや相談できるカウンセラーなどのニーズが増える 孤独死が減る 人と人の関係の理解が深まる | <ul style="list-style-type: none"> 人付き合いをせず家にもくる人が増える(コミュニケーションが煩わしい人もいる) 多様性が受容され生き方に困る人が増える 技術が進んでおらず多様性が受容されるため行政コストが増える | <ul style="list-style-type: none"> コーディネーター、カウンセラーへのニーズ増 | <ul style="list-style-type: none"> 行政のなんでも相談・生活サポートのプラットフォームの構築 行政の縦割りをなくし、多様な人の困りごとがどの窓口にもいっても相談できる 多様な生き方を認証する仕組み(LGBT、外国人などを含む就職や家を借りる人のための保証システム) 行政コストを減らすためのシステム化、IT化 |
| 【B】 子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> IT技術の停滞により顔の見えるコミュニケーションが進む | <ul style="list-style-type: none"> 多様な生徒受入れによる学校の負担増 | <ul style="list-style-type: none"> 日本語教育サポート | <ul style="list-style-type: none"> 外国人向け日本語教育支援 外国人向け教育ボランティアなどの支援 |
| 【C】 いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 孤独死が減る | <ul style="list-style-type: none"> 信用しやすくなることで犯罪が起きやすくなる | <ul style="list-style-type: none"> 外国人向け医療補助、医療通訳 外国人などが家を借りる際や、就職等の場面で行政による身元保障 | <ul style="list-style-type: none"> 外国人向け医療補助、医療通訳の育成 医療通訳など有償ボランティア制度 外国人などが家を借りる、就職等の行政による身元保障 |
| 【D】 街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> 外国文化が流入した魅力ある街づくり | <ul style="list-style-type: none"> 街の整備コスト増加 | <ul style="list-style-type: none"> 街中のバリアフリー化 | |
| 【E】 地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者、障害者、外国人等の仕事の幅が広がり、就業できる | <ul style="list-style-type: none"> 社会をまわしていくコストがかかる(多様な人がいるため、作業一つ、会議一つにも手間がかかる) 単純労働などの就業に関して個人間の競争が激しくなる | <ul style="list-style-type: none"> 労働相談が多様化する | <ul style="list-style-type: none"> 労働に関する相談窓口の多様化対応 |

複数シナリオ分析：シナリオ「ハートフルシティ 松戸」

8班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組みの検討 |
|---------------------|---|---|--|---|
| 【F】 安全・安心・快適な暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 地域防災・自主防災が進み町内会などのコミュニティで対応する | <ul style="list-style-type: none"> 町内会などのコミュニティに属さない人が防災防犯の恩恵が受けられない | <ul style="list-style-type: none"> 町内会などのコミュニティに属さない人への防犯防災支援 | <ul style="list-style-type: none"> 町内会などのコミュニティに属さない人への行政からの情報発信 |

複数シナリオ分析：シナリオ「20xx年...MAD CITY」

8班

| 切り口 | チャンス | リスク | ニーズ | 取り組みの検討 |
|----------------------------|--|--|--|--|
| 【A】 人にやさしいまち・共生社会・持続可能性 | <ul style="list-style-type: none"> 変化を求めない人にとっては住みやすい | <ul style="list-style-type: none"> IT格差、デジタル格差のため、アナログを用いるコミュニティとITを用いるコミュニティに分かれる 松戸の地域愛の希薄化(ベッドタウンのまま) | <ul style="list-style-type: none"> 大人へのIT教育 | <ul style="list-style-type: none"> IT教育コミュニティ形成 町ゼミ(商店主など街の仕事をとり上げるセミナーetc)で松戸愛を育む |
| 【B】 子育て・教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> IT格差等ギャップを埋める教育産業が増える 日本語教育や高齢者がITを使えるようになるための産業が増える | <ul style="list-style-type: none"> 教育格差が進む | <ul style="list-style-type: none"> 生涯教育(大学・公民館)の推進 IT教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 学校に外国人の先生を増やす 生涯教育(大学・公民館)の推進 IT教育の推進 |
| 【C】 いきいきとした暮らし | <ul style="list-style-type: none"> 「30代のまち」「高齢者のまち」など、街がセグメントされていくことで人が集まる | <ul style="list-style-type: none"> IT格差、デジタル格差のため、アナログを用いるコミュニティとITを用いるコミュニティに分かれる 孤独死のリスクが高まる | <ul style="list-style-type: none"> IT教育 いきいきサロン | <ul style="list-style-type: none"> いきいきサロンの推進、高齢者の拠点づくり |
| 【D】 街の魅力や居心地 | <ul style="list-style-type: none"> 再開発等により新しい街ができる | <ul style="list-style-type: none"> 街づくりが行政主体で行われ、住民の意向が反映されない保守的、多様性のない街づくりになる | | <ul style="list-style-type: none"> カフェ・サロン用スペースをつくる(公民館ではなく、いまどきの集う場所) 空き家等の遊休不動産の活用 |
| 【E】 地域経済・働き方 | <ul style="list-style-type: none"> 労働力が不足し、技術普及が進んでいないため、労働賃金の単価が上昇する 新しいサービスが生まれる伸びしろが生まれる 単身世帯が増えるため、単身向けビジネスが増える | <ul style="list-style-type: none"> インフレになる 労働賃金が増える業種がある一方で、下がる場所もあり、格差社会が生まれる | <ul style="list-style-type: none"> 単身向けサロン付き住宅 | |
| 【F】 安全・安心・快適な暮らし | | | <ul style="list-style-type: none"> 交番 防犯ボックス | <ul style="list-style-type: none"> パトランなどの自主防犯組織の強化 |